



Web Fairy Paradise

第14号

今月のフェアリー詰将棋

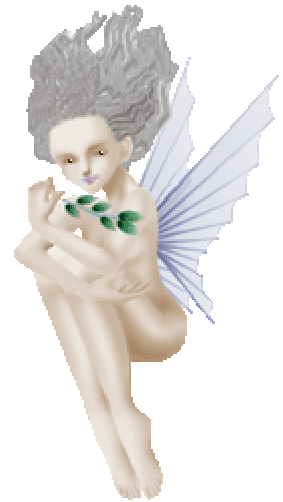
- ・ 第13回WFPフェアリー作品展
- ・ 推理将棋第25回出題
- ・ OFM 第 150 回出題
- ・

結果発表

- ・ 第12回WFPフェアリー作品展
- ・ OFM 第 149 回出題
- ・ 推理将棋第24回出題
- ・ Fairy of the Forest #20
- ・ 第25回詰将棋全国大会作品

読み物

- ・ ギネスに挑戦！フェアリー編 2
- ・ フェアリーランド全解答成績
- ・ 妖精賞の系譜（2）
- ・ 第1回フェアリー短コン募集要項



2009/8

はじめに

お盆に広島に帰省しました。帰る度に新しい発見があるのですが、今回は、新しく出来てまだ行っていなかったマツダズームズームスタジアムに行きました。残念ながら試合が無い日でしたが、十二分に雰囲気堪能してきました。カーブの成績が振るわないのが玉に瑕ですがこればかりはねえ。



さて今月号は、妖精賞の系譜2、ギネスに挑戦2などの読み物のほか、詰バラフェアリーランドの解答成績一覧を発表しています。個人の集計ですので間違いがあるかもしれませんがなかなか面白い結果が出ているようです。これをお読みの方々の名前もきっとどこかにあることでしょう。

それで第1回フェアリー短編コンクールの開催が決まりました。開催は12月号です。創作期間は充分にありますので、これまであまり発表されていない人の投稿が期待されます。詳細は要項をお読み下さい。担当は第1回は

JIGSAW BOXでお馴染みの小峰耕希氏です。氏の熱の入った解説のファンは多いはず、これも大いに期待できますね。

先月は解答者にとっては受難ともいえる月でしたが、今月は割りと楽な月と言えます。こんな時には創作を・・・と行きたいですね。

【募集】

作品

フェアリー作品、PG、推理将棋はそれぞれの投稿先へ投稿下さい。

読み物

フェアリー詰将棋に関するものに限らず日常のことも研究物でも4コマ漫画からパロディ、イラスト、マイベスト10、自己紹介、何でもOKです。ページが埋まれば私は嬉しい？読者サロンのような感じで送っていただければと思います。

感想

第14号の感想、今後の要望、ご意見等なんでも結構です。是非メールにて私まで

皆様の反応が私の意欲に成りますので是非ご協力をお願いします。

読み物、感想の投稿はこちらまで

たくぼん：takuji@dokidoki.ne.jp

協力いただいている方々のHPアドレス

* ご協力感謝します

妖精都市

<http://www.geocities.jp/cavesfairy/>

詰将棋メモ

<http://toybox.tea-nifty.com/>

詰将棋おもちゃ箱

<http://www.ne.jp/asahi/tetsu/toybox/>

Onsite Fairy Mate

<http://www.abz.jp/~k7ro/>

[作品投稿要項]

- 1) 作品投稿は随時受け付けています
- 2) ルールは不問です。フェアリー系ルールならばかしこでも可です(安南詰 etc)
- 3) FM 等で検討済みの場合はその旨を付記して下さい
- 4) FM 等で検討出来ない場合は検討の手伝いをします

[解答要項]

解答締切：平成21年 9 月 15 日頃

本作品展は、正式発表とし TOP IX の対象となります。また解答のコメントは結果発表にて掲載いたしますのでご了承下さい

作品投稿及び解答は

webfairyparadise_you@yahoo.co.jp

をお願いします

余詰・近況報告は

<http://circe-pro.cocolog-nifty.com/blog/>

で行っています。確認の上、解答下さい

ルール説明

【協力詰】

先後協力して最短手数で受方玉を詰ます

【協力自玉詰】

先後協力して最短手数で攻方玉を詰ます

【Isardam(A)】

1. 同種の敵駒の利きに入る手を禁止する
2. 成駒と生駒は別の駒として区別する
3. 以上の条件は王手の概念にも適用され、玉を取ると同種の敵駒の利きに入る場合は王手とみなさない

【安南】

味方の駒が縦に並ぶと、上の駒の利きは下の駒の利きになる

【禁欲】

攻方は駒を取らない王手があれば、その手を選択しなければならない。受方は駒を取らない王手回避手があれば、その手を選択しなければならない

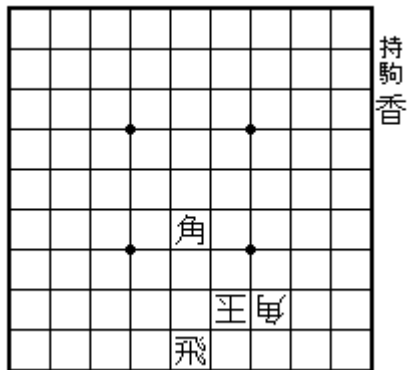
【前節】

今回は投稿作品を吐き出すだけなので特に失敗もないでしょう。あるとすれば担当が一切解いていないという事です。まあ、Isardam とかは解ける気がしないのですが……最近は何に解図能力が低下しています。何というか、考える能力自体が低下してそうですね。困ったものです。どうでも良いですがロックマン 2 の TAS が

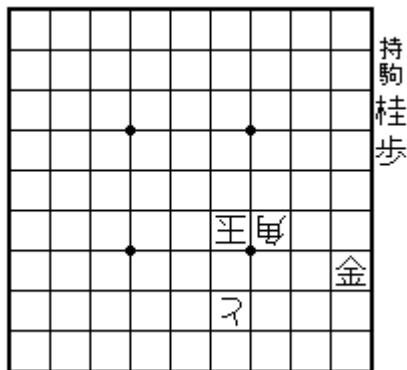
23分54秒75に。昔やっていたゲームと同じ物とは思えませんww ゲームを解析してバグを発見している経過等を見ると楽しめます

【フェアリー】

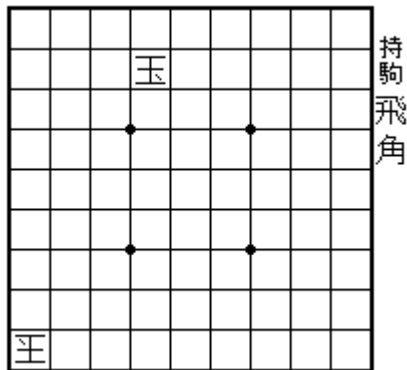
第 1 番 雲海氏作 協力詰 7 手



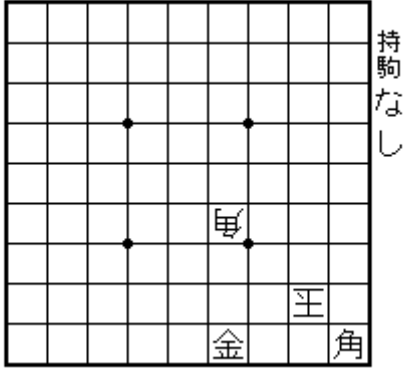
第 2 番 たくぼん氏作 安南協力詰 9 手



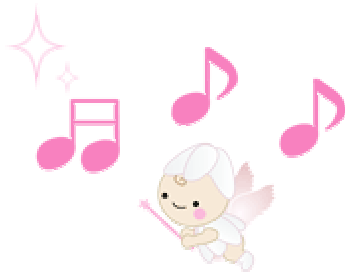
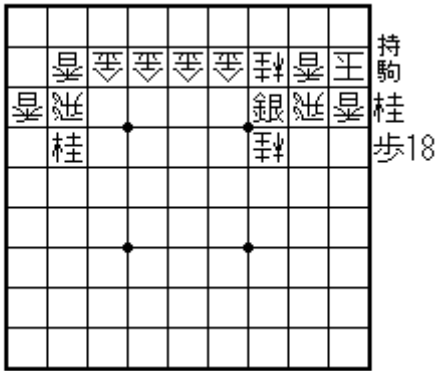
第 3 番雲海氏作Isardam(typeA)協力自玉詰 8 手



第4番 たくぼん氏作
Isardam(typeA)協力詰11手



第5番 神無七郎氏作 禁欲協力詰 411手



若島正

若島正について知
りたいんですか？
いいわ 調べてみ
ましょう



…むかしむかし 太平洋には
ムーという大陸がありました



「若島正」は そ
の大陸では「雄弁
家」という意味
だったそうです



な なんだって～！！



Cronus Crown

<http://crocro.com/>

(いいのか？勝手に名前使って…)

詰将棋メモ

推理将棋第25回出題

将棋についての会話をヒントに将棋の指し手を復元するパズル、推理将棋の第25回出題です。はじめての方は
どんな将棋だったの？ - 推理将棋入門

(http://toybox.tea.nifty.com/memo/2007/05/post_53f2.html) をごらんください。

解答、感想はメールで2009年8月20日までに TETSU まで (omochabako@nifty.com) メールの題名は「推理将棋第25回解答」でお願いします。

全解答者から抽選で1名に賞品リスト (<http://www.ne.jp/asahi/tetsu/toybox/tenji/shohin.htm>) からどれでも一つご希望のものをプレゼント！

推理将棋第25回出題

担当 タラパパ

今月はミニベロさんの特集。おなじみ？伊藤家の三兄弟の登場です。

元々の問題は全部中～上級ですので、ヒントで難易度を調整しました。

25-1 初級 ミニベロさん作

端に打った駒 (看護) 10手

先手は持駒を自陣で取ったようです。後手は何枚の駒を取る必要がある？

25-2 中級 ミニベロさん作

端から動いた駒 (看板) 10手

端から動いたのはもちろん大駒。後手があと1枚だけ使った駒とは？

25-3 上級 ミニベロさん作

端に成った駒 (看守) 10手

端に駒が成ったのは9手目。最後の歩成は動いた歩？打った歩？

伊藤三兄弟 端の駒 10手

おなじみ伊藤三兄弟が仲良く推理将棋を作って

いるようです。

課題は「10手・端の駒」。

うまく出来たかどうか、見てやってくださいね。

25-1 初級 ミニベロさん作

端に打った駒 (看護) 10手

(条件)

- ・ 10手で詰んだ
- ・ 後手は「6手目に不成で取った駒」を端に打った
- ・ 終局時先手に持ち駒あり

25-2 中級 ミニベロさん作

端から動いた駒 (看板) 10手

(条件)

- ・ 10手で詰んだ
- ・ 8手目(終了)の局面で端にいた駒が動いて、「歩を取って成って」初王手で詰ませた
- ・ 着手された駒は、先手3枚・後手2枚

※ 初王手で詰みですから、先手からの王手はありません。

※ 1枚の駒を先手後手が使い回した場合、それぞれに1枚ずつ使ったとしてください。

25-3 上級 ミニベロさん作

端に成った駒 (看守) 10手

- ・ 10手で詰んだ
- ・ 端に駒が成った直後に歩が成った
- ・ 初手は5筋
- ・ 6筋の手があった

(補足)

大丈夫とは思いますが、「端」とは「困った時には端歩を突け」の「端」です。

つまり1筋又は9筋の18箇所の手。

21～81、29～89は盤の端とも言えますが、含まないとしてお考えください。

Onsite Fairy Mate 第 150 回出題

開催日 : 2009 年 8 月 9 日 (日)
 解答締切 : 2009 年 9 月 5 日 (土)
 解答発表 : 2009 年 9 月 6 日 (日)

雲海 氏作

協力白玉詰 12手

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
									一
									二
				飛					三
									四
				馬					五
							王		六
				馬					七
					継歩	王歩			八
									九

持駒 なし

【ルール説明】

協力白玉詰 (=ばか自殺詰)

先後協力して最短手数で攻方の玉を詰める。

本作の解答を E-mail で管理人宛
 (janacek789@ybb.ne.jp) にお送りください。

【本サイトへのメールについて】

解答や感想など、本サイトにメールを送っていただくときに、メールの件名に次の単語のうち一つ以上を入れるようにしてください。

「OFM」(小文字でも可)、「解答」、「感想」、「作品投稿」これらの単語を件名に含むメールが迷惑メール扱いされないよう設定しました。確実にメールが届くよう、ご協力をお願いします。

【コメント】

今年は世界天文年です。先月の皆既日食や若田飛行士の宇宙ステーション滞在などで、宇宙

関連のニュースも多く取り上げられました。世界天文年はガリレオが望遠鏡を用いて天体観測を始めてから 400 年目であることを記念して企画されたそうですが、この 400 年という時間が詰将棋の歴史の長さとはほぼ重なるのも興味深いところです。

ここで「望遠鏡」の果たした役割に注目してみましょう。

もし「天体観測は肉眼で行うべし。望遠鏡を使うなどもってのほか！」などと言っていたら天文学はどうなっていたでしょう？おそらく私達はいまだに天動説の世界に住み、宇宙は大地にお碗を被せた半球で、はるかに広がる百数十億光年の巨大な空間など夢想することもなかったでしょう。望遠鏡が使われる以前からそれなりに立派な天文学はあったのですが、それ以降の天文学の成果は文字通り次元が違います。望遠鏡の使用で天文学は学問の世界のみならず、人々の世界観や生き方にさえ影響を与える程の成果を挙げたのです。

でも、望遠鏡さえあれば大発見ができるわけではありません。仮に私がガリレオと同じ時代に住み、ガリレオと同じ望遠鏡を与えられたとして(ガリレオは望遠鏡を自作したそうですが私には無理です)、私は何か発見できたでしょうか？答えは「何も」です。仮に私が信じられないほどの偶然で望遠鏡を木星に向け、信じられないほどの偶然で木星の衛星を捉えたとしても、「何だろうこれ。レンズのごみかな？」と思うのが関の山です。ましてやそれを地動説と結びつけることなど夢物語でしょう。道具で何ができるかは道具を使う人間の力量によって決まるのです。

私は詰将棋におけるコンピュータの役割も天文学における望遠鏡と似ていると思うのですが、ここでその話をするときりがないので割愛しましょう。

ちなみに、望遠鏡でも肉眼でも普通は可視光で宇宙を見ます。でも、可視光は光のごく一部に過ぎません。電波やX線といった別の「光」で見れば、宇宙はまた別の姿を表します。

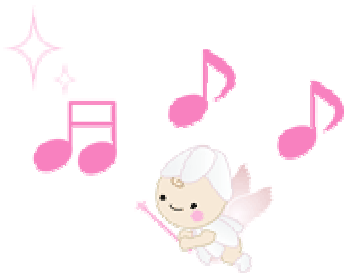
別の光で宇宙を見る——これは別のルールで詰将棋の世界を見るフェアリーの楽しみに通じますね。

さて、今回の出題は期待の新星、雲海氏の投稿作品です。このところ氏の作品の充実振りは目ざましく、特にWFP 13号で出題された JIGSAW BOX #04 の協力自玉詰 24 手（注：26 手の改良図もあります）には心底驚かされました。「今月は忙しくて…」という人も、これだけは多少無理してでも解くべきだと思います。

なお、今回は解答募集期間を一週間延ばして4週間としました。WFP 13号の出題数が多く、解答募集期間も一部重なるための措置です。

世界天文年のスローガンは「宇宙・・・解き明かすのはあなた」（The Universe: Yours to Discover）だそうです。そう、この作品を解き明かすのもあなたです！

（担当 神無七郎）



左 真 樹

左真樹について知りたいんですか？
いいわ 調べてみましょう

…むかしむかし 太平洋には
ムーという大陸がありました

「左真樹」はその大陸では「大司教」という意味だったそうです

な なんだって～！！

Cronus Crown

<http://crocro.com/>

（左さん さすがです）

【解答者】 4名

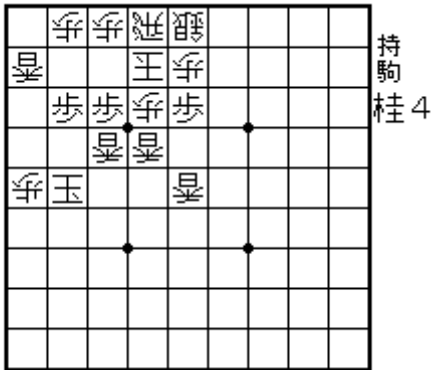
全題正解者：神無七郎氏

8題正解者：雲海氏 たくぼん氏
隅の老人B氏

他にも色々作品展があつて大変だったみたいです。すっかり失念していて申し訳ないと思います。日頃、解答を送っていない弊害でした。今期はFOFとジグゾーの一部の解図をしましたが結局解答を出さず……この辺りが駄目なんですよねえ……一応、解いてはいますので解答発表後に感想と一緒にブログにでも短評と感想を載せる事にします

今回は、担当が好きな自玉詰及び通常キルケール特集でした。基本的にこっそり後のヒントになるように焼き増ししたりしたのですが………まあ、減らした方が良かったかもそれにしても自分の作品でも解説出来ない、ていうか、手抜き出来るが良いですね

第1番 協力自玉詰16手



【作意】

54桂 73玉 65桂 83玉 75桂 82玉 94桂
72玉 62桂成 同飛 83桂成 同玉 82桂成
同飛 73桂成 同玉 迄 16手

【コメント】

詰四会作品展で作った協力自殺スタイルメイトの短評を見て作ろうと思った作品。簡単に出来ると思ったのですが想像以上に余詰が厳しく凄まじい形になってしまいました……打って捨てるだけなので特に何も言う事はない

【短評】

神無七郎氏：

桂4枚を打って成り捨てる楽しい手順。打つ順を「1234」とすると、捨てる手が「1342」の順なので、手順に単調さを感じさせません。親切なヒントのおかげですぐ解けましたが、歩成りの紛れもあってノーヒントなら結構難しいと思います

たくぼん氏：

形は凄まじいが、内容は楽しめる1局

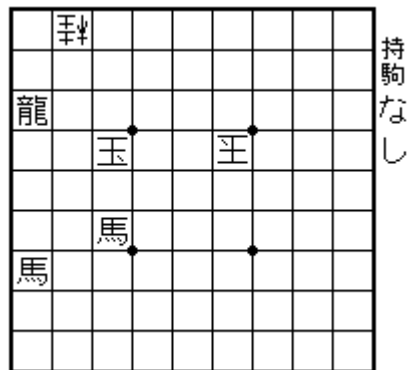
雲海氏：

ヒント?のおかげで、あっさりと解けました。駒数は少し多いですが、狙いが4桂連打→連続捨て、と簡明で好感が持てます。個人的には8問の中で一番面白かったです

隅の老人B氏：

積み木崩しも、ここまで来ると、立派。巧みに飛を運びましたね

第2番 協力自玉詰8手



【作意】

88馬 77飛 53龍 同玉 97馬 86飛 75馬
64金 迄 8手

【コメント】

キルケ自玉詰のヒントになるように作った作品。こちらの方がスマートに纏まったような気がします。狙いは、「76馬をピンした状態での詰み」 こういう形は個人的に好きな詰上りなのでやってみたかったです。馬が軽くスイッチ

バックしますがこちらはおまけです

【短評】

神無七郎氏：

コメントにあったキルケ自玉詰とは第6番のことでしょうか。ピンを二重にして第5番に似せても良かったかも

たくぼん氏：

馬のスイッチバックはちょっとしたアクセント。おしり飛車2発は楽しめる

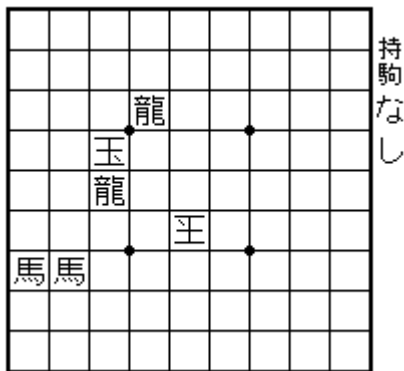
雲海氏：

馬のスイッチバックがちょっとした味付け

隅の老人B氏：

短手数でも、合駒が入ると難しい。77飛合は難手です

第3番 協力自玉詰10手



【作意】

55龍 同玉 77馬 66飛 54龍 同玉 98馬
87飛 76馬 同飛 迄 10手

【コメント】

龍を捨てて飛合×2、をしたかっただけの作品です。が、幸運にも龍馬図式になりました

【短評】

神無七郎氏：

2枚龍を相手の2枚飛に変換。
自分だったら見た目重視で75龍→64龍とすると
思います（龍2枚、馬2枚が共に並ぶので）

たくぼん氏：

意外と見え難い詰上り

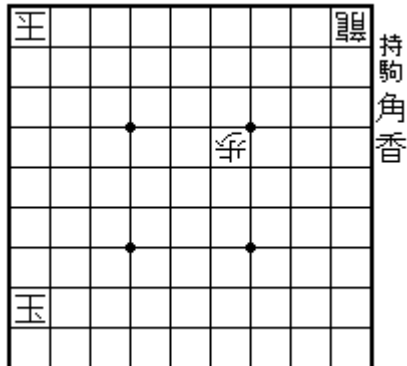
雲海氏：

龍馬図式から捨駒がたくさん出て来ていいですね

隅の老人B氏：

綺麗な竜馬図式で、手順も良いね。2番で苦労したので、多少は楽でした

第4番 キルケ協力自玉詰6手



【作意】

19角 81玉 89香 19龍 /88角 97角
89龍 /99香 迄 6手

【コメント】

魔女返しをする為の遠打×2発、を作ろうというのが創作動機。第8番のヒント+キルケルールを思い出してもらったための出題でした。ていうか、これが今回のキルケ5題の中で一番出来が良いかもしれません

【短評】

神無七郎氏：

遠打2発、魔女返し、ヒモなし王手の詰上り。キルケはこう作るんだぞ、という見本のような作。良く出来すぎていて類作が怖い？

たくぼん氏：

97の塞ぎ方が巧み。キルケらしい順を考えればすんなりとたどり着く

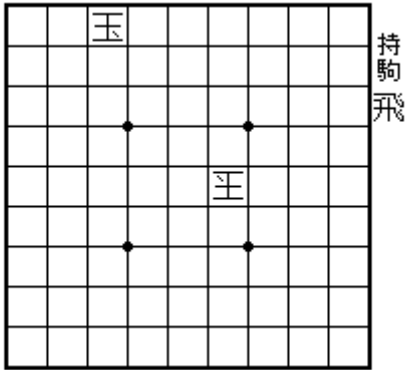
雲海氏：

確かにこの手筋はキルケではそれなりに有名かと。44歩は惜しいけどしょうがないですね

隅の老人B氏：

2度の遠打に竜の大回転、詰上りもお気に入り

第5番 キルケ協力自玉詰8手



【作意】

95飛 85角 同飛 /22 角 75角 同飛 65飛
81角 72金 迄 8手

【コメント】

この最終形を作ろうと思ったら何故か双裸玉になった作品。偶然の産物ですね

【短評】

神無七郎氏：

何枚利いていても取れないキルケ流焦点打。これの極端な表現が、あの四隅之作物になるのですね

たくぼん氏：

これはいい！大駒3連合は圧巻！

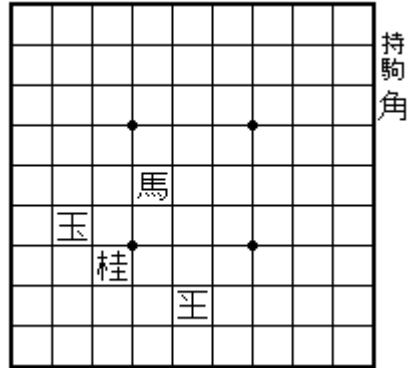
雲海氏：

この詰上がりを知っていたので楽に解けました。双裸玉で出来ているのがOK！

隅の老人B氏：

2度目の角合は戻せない。8手で4度の合駒、難しい。裸、夕涼み よくぞ男に 生まれけり。そう言えば、裸で捕まった奴がいた、ご用心

第6番 キルケ協力自玉詰8手



【作意】

76馬 67香 同馬 /91 香 同玉 /88 角 94角
85飛 同角 /82 飛 76金 迄 8手

【コメント】

2番の元ネタです。キルケだと舞台装置を合駒で作れるので面白いかなと思いましたがそうでもなかったみたいです

【短評】

神無七郎氏：

角を打ちたい初形だけに先に馬を使うのは意外。桂の配置は最終手85飛の防止ですが、こちらを作意にしたい気もします

たくぼん氏：

これはすんなりと解けました。1番と似た味

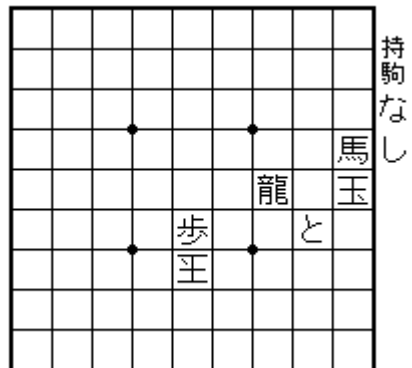
雲海氏：

キルケらしい手順ですが、正直あまり面白味が…

隅の老人B氏：

習うより慣れよ、かな。でも、長時間考えた。

第7番 キルケ協力自玉詰8手



【作意】

37龍 47香 13馬 24歩 47龍 /11 香
同玉 /28 飛 14馬 同香 /88 角 迄 8手

【コメント】

キルケルールを最大限に生かした詰上りが狙い
です。キルケでは4段目の歩を玉で取る事が出
来ないのが分かりにくかったみたいです

【短評】

神無七郎氏：

軽い24歩が24飛や35金よりも役に立つキルケ
の世界。実はこの「取れない4段目の歩」の
筋を思い出すのに少し時間が掛かりました。
最近あまりキルケを作ったり解いたりしてい
ないので、感覚を忘れていたようです

たくぼん氏：

歩の限定合が見事。歩以外の駒ばかり考えて
いました

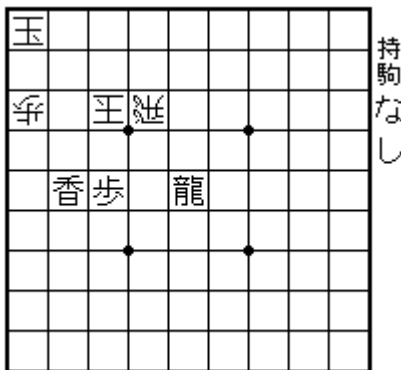
雲海氏：

香合も歩合も予想通りでした

隅の老人B氏：

それにしても、良くこんな詰め上がりを考え
ますね。私には創れないが、解くより創る方
が楽かな

第8番 キルケ協力自玉詰10手@2解



【作意】

74歩 同玉 /77 歩 54龍 64角 63龍 /82 飛
75玉 73龍 74角 84龍 同飛 /28 飛
迄 10手

64龍 72玉 83香成 同飛 /99 香 74龍 73角
83龍 /82 飛 71玉 72龍 同飛 /28 飛
迄 10手

【コメント】

魔女返しを攻方で、が最初の創作動機です。空
王手を縦にしようか横にしようか迷って両方を
弄っている間に両方が同時に出来た作品。一方
で75歩や85香がいらぬように見えますが実は
余詰防ぎになっていますので無駄のない配置で
出来た会心作だったのですが……どちらか一方
にしても良かったかもしれません
雲海氏評にある取られた駒の再活用はこの位置
では物理的に無理なような……

【短評】

神無七郎氏：

第4番のおかげで魔女返しの感覚を思い出せ
たのですぐ解けました。64龍の解で香の消去
を挟んで、飛を取る位置を変えるのは巧いと思
います

たくぼん氏：

2解目の83香成の味がいいなあ。2解とも水
準と思いますが、似たような印象があるので
単独でもよかったような気がします

雲海氏：

共通点は、共に魔女返しを使用して、最後は
開き王手で詰み。相違点は、開き王手が縦と
横、香か歩の片方を取らせる、といった所で
しょうか。欲をいえば、取られた駒が再活用
する手順が出てきて欲しかったです

隅の老人B氏：

どちらの手順が先に出来たのかな？まさか、
片方が余詰だったりして。いづれにしても、
双方の手順は上手く出来てる、難しい

【推理将棋】

第1番 ミニベロ氏作 「焦点の成り」

傍目八目の3人の盤側での会話です。

「ウーム、12手で詰みか。初手に歩以外の駒を
動かしたのが拙かったか」

「角取りに歩を突く手では、他にも手があった
んじゃないの？」

「最終手の4枚の敵の利きへの着手は本局唯一

の成る手だったね」

さて、どんな 将 棋 だったのでしょうか

- ・ 12 手で詰んだ
- ・ 最終手は 4 枚の敵の利き場所へ成る手だった
- ・ 初手は歩ではない
- ・ 角取りに歩を突いた* 1

* 1) 浮き駒の角に歩による只取りの手を指した

【作意】

58 玉 34 歩 76 歩 88 角生 77 桂
 同角生 46 歩 47 桂 48 銀 25 角
 26 歩 59 桂成 迄 12 手

詰上図

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
香	桂	銀	金	王	金	銀	科	香	一
	飛								二
歩	歩	歩	歩	歩	歩		歩	歩	三
						歩			四
							馬		五
		歩			歩		歩		六
歩	歩	馬	歩	歩		歩		歩	七
				王	銀		飛		八
香		銀	金	手	金		桂	香	九

持駒 なし

【コメント】

難しすぎたようです。ていうか、25 に角を打ってそれに歩を突くという展開が担当は全く見えずに乙りました。詰上りが狙いの作品ですが 4 枚の利く形を探せば何とかあったかもしれません。最後は両王手にほぼ決まっていますからねえ。作者曰く、新種の詰上がりだそうです。確かに某コミュ内でも見た事がない気がします。今思えば、作者に最終手は桂成りだった位入れた方が良いのでは？と打診してみるべきでしたか

【総評】

雲海氏：

特集ものは好きなので、なかなか面白かったです。ただ、他の作品展もあったので、ちょっと大変でした。そういえばセルフ特集で思い出しましたが、今回の OFM 拙作も是非解いてくださいね(笑) よろしく願います

* 解図には挑戦します。解けるかどうかは別ですが……白玉詰は作るのも解くのも好きなので

たくぼん氏：

さすがにちょっとやりすぎのような感じですね。今月は作品展が多かったので白玉詰 8 作はキツかったです

神無七郎氏：

一見問題数が多くて大変そうに思ったのですが、ウォーミングアップ的な問題もあったおかげで割とすんなり解くことができました。フェアリーだとルールに合わせて頭を切り替えれないといけないので、難しい問題を解く前に、同じルールで易しい作があると助かりますね。今回の作品展では第 1 番が一番面白かったです

Onsite Fairy Mate 第149回出題解答

開催日 : 2009年 7月12日(日)
 解答締切 : 2009年 8月1日(土)
 解答発表 : 2009年 8月2日(日)

神無七郎 作

禁欲協力詰 75手

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
									一
						銀			二
					香	皇	香	皇	三
					皇			王	四
					飛				五
					王			皇	六
								皇	七
									八
									九

持駒 桂4歩18

【ルール説明】

協力詰 (=ばか詰)

先後協力して最短手数で受方の玉を詰める。

禁欲

攻方は駒を取らない王手があれば、その手を選択しなければならない。

受方は駒を取らない王手回避手があれば、その手を選択しなければならない。

【手順】

15歩 24玉 25歩 15玉 24歩 14玉
 15歩 24玉 25歩 15玉 24歩 14玉
 15歩 24玉 25歩 15玉 24歩 14玉
 15歩 24玉 25歩 15玉 24歩 14玉
 15歩 24玉 25歩 15玉 24歩 14玉
 15歩 24玉 25歩 15玉 24歩 14玉
 15歩 24玉 25歩 15玉 24歩 14玉
 15歩 24玉 34飛 15玉 35飛 14玉

34飛 24銀 15歩 同玉 35飛 14玉
 15歩 同銀 34飛 24歩 26桂 同銀
 15歩 同銀 26桂 同銀 15歩 同銀
 26桂 同銀 15歩 同玉 35飛 25歩
 27桂 24玉 34飛 同玉 43銀生 24玉
 34銀成 14玉 24金 まで 75手

神無七郎 作

禁欲協力詰 75手 (詰上り)

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
									一
									二
						皇	香	皇	三
					皇	全	金	王	四
						皇			五
						王	皇	皇	六
							桂	皇	七
									八
									九

持駒 なし

【解説】

本作は持駒消去作品です。

「持駒消去」というと通常は自玉詰系のルールで見られる手筋ですが、条件によっては協力詰でもそれが可能になる場合があります。「禁欲」も自玉詰系以外で持駒消去の筋を可能にする条件のひとつで、ルールが提案された初期のころからそういった作例がありました。

本作では「43金を取りたい」→「でも持駒があると“禁欲”なので取れない」→「持駒を捨てよう」という理屈で持駒消去が成立します。とても分かり易い理屈ですね。

ところが、ここで問題になるのが持駒の消し方。

持駒が歩だけなら何も迷うことはないのですが、持駒には桂もあるため、桂と歩のどちらを先に捨てるのか、桂の消去のため歩を何枚残すのが問題になります。

ただ、この問題には比較的簡単に決着が付き
ます。仮に初手から **34 飛 24 銀 15 歩 同玉
35 飛 14 玉 15 歩 同銀** と進めると以下
26 桂 に対して **同銀** と取ることができま
せん（**24 玉**が可能）。すると、作意の収束と
同様 **34 飛 24 歩** … のように進めるか、
34 飛 24 銀 … と進めざるを得ず、いずれ
にしても不詰（あるいは手数オーバー）になり
ます。

つまり、先に消去するのは歩です。また、桂
は全部捨てる必要はなく、1枚は盤上に残して
も良いことが分かれば、残しておく歩の枚数も
正確に計算できると思います。

禁欲ルールは強欲ルールと同様、着手制限型
のフェアリールールですが、どちらも提案され
てから長い間事実上放置されたままでした。強
欲ルールは最近その真価が理解され始めたところ
ですが、他のマイナールールもたまにこうして
虫干しすれば、意外と「化ける」かもしれませ
ん。

【正解者及びコメント】（正解7名：到着順）

たくぼんさん

最初は **34 飛 24 銀**～から歩を消去しようと
しましたが全然ダメ。もっと単純な消去法があ
りました。禁欲ばか詰は（多分）はじめて解図
する為か、なぜ持駒が邪魔なのかの理由がしば
らく気付きませんでした。金を取るためだっ
たんですね。禁欲もなかなか面白そうです。
（余詰みにくい？）

☆ 確かに銀を絡めるのも一法ですね。（例：
禁欲協力詰 **23 香 32 銀 35 飛 36 王 + 桂 4 歩
18, 13 香 14 玉 16 香 17 馬 24 銀 33 香 43
金 44 馬 #83**）

あまり煩雑にならない配置で銀を合駒で出せれ
ば、こちらを選んで良さそうです。

なお、たくぼんさんは解答成績100点達成まで
あと1問と王手を掛けました。よほどのことが
ない限り次回で達成は間違いないので、賞品と
殿堂入り表彰ページを用意しておきますね。
何かリクエストがあれば可能な範囲で対応しま
すので注文してください。（例えば「C→Vの
立体曲詰を作れ」とか…）

小峰耕希さん

/M オプション絡み（協力系なのに /M11 が使
えない）だろうとはすぐ見当がついたので難無
く解ける。手順を限定するのに禁欲が利用され
まくって気持ち良い！

☆ さすがに鋭いですね。

f m虎の穴・基本技#01には「/M11 を使うと
不詰（または手数オーバー）になる作品を作
れ」という演習問題があるのですが、これを
出したときの対象ルールは純粋な協力詰を想定し
ていました。

これを『非自玉詰系ルールで受方駒不足解消以
外の方法で「持駒消去」が可能な条件を挙げ
よ』に変形すると、新たな演習問題ができそう
です。求む挑戦者！

雲海さん

禁欲を解くのは初めて。どんなのだろう、と思
って解く。いろいろ試した所、43の金を取る
必要がありそうだが持駒の桂歩が邪魔だと気付
きました。持駒が邪魔という作品は聞いたこと
はありましたが、出会ったのは今回が初めてで
した。しかし歩は簡単に消費ができて、桂を
消費できず困りました。銀を発生させて、それ
を利用することにやっと気がついても、今度は
早く詰んでしまう。理由はルール違反の手があ
ったからなのですが、解いている時は気づかなか
ったです。なるべく駒を取らない手を選ぶとい
うルールの禁欲は、欲深い私には難しかったです。

余談

11に原子番号1を、12に2…と順番に番号
を振っていったら、ナトリウムの原子番号は

11だから22の柁、塩素の原子番号は17だ
から28の柁。

ということは食塩をテーマにするなら、22と
28の柁がテーマということになりますね。
キルケやアンチキルケなら意外と簡単に出来る
かもしれませんね。

ところで今回の作品は何がテーマ？と考えてみ
ましたが、趣向的な持駒消去がテーマとすると
当てはまる原子がない…

となると持駒趣向も当てはめられませんね。
うーん、どうしましょう？

☆ 実際に原子番号順に安定な元素を盤面に割り振るとこうなりますね。

Re	Dy	Ba	Ag	Rb	Ni	K	Ne	H
Os	Ho	La	Cd	Sr	Cu	Ca	Na	He
Ir	Er	Ce	In	Y	Zn	Sc	Mg	Li
Pt	Tm	Pr	Sn	Zr	Ga	Ti	Al	Be
Au	Yb	Nd	Sb	Nb	Ge	V	Si	B
Hg	Lu	Sm	Te	Mo	As	Cr	P	C
Tl	Hf	Eu	I	Ru	Se	Mn	S	N
Pb	Ta	Gd	Xe	Rh	Br	Fe	Cl	O
Bi	W	Tb	Cs	Pd	Kr	Co	Ar	F

本作の駒の動きや配置をこれにこじつけようとしても巧く行きません。こんなときはあの人に無理やり解釈して貰いましょう。

俺達とはんでもない思い違いをしていたようだ…この作の主題は「持駒消去」……つまり安定な元素ではなく不安定な元素こそが主役…ビスマスより軽い不安定な元素は2つ——これはうつろい易い「持駒」を表し、それぞれが先手と後手の駒台に対応する。中でもプロメチウムの半減期はたった17.7年で、あっという間に持駒がなくなるこの作の主題と一致する。ということは…



な、なんだってー！（お約束）

とまあ、某 90 年代ネタは置いておいて、詰将棋を暗号風に使って隠れた意味を持たせること

は（詰将棋自体が暗号みたいなものですが）結構古くから行われてきました。

あぶり出し曲詰などは分かり易い例ですが、「大小詰物」などは知らなかったらその意味を見破るのは難しいでしょう。

今回の「安定な元素」の発想の元ネタは、詰将棋パラダイス 1992 年 4 月号に小島正司氏が掲載した「い石詰爺さん」です。この記事によると、何でも昔は盤上の各マスのひとつの文字に対応させる棋譜法があったそうです。（下図）

谷	柳	万	一	ゆ	ま	つ	ぬ	い
川	桜	花	三	め	げ	ね	る	ろ
海	松	鳥	五	み	ふ	な	き	は
里	楓	風	六	し	こ	ら	わ	に
村	雨	月	七	ひ	江	む	か	ほ
森	露	春	八	も	て	う	よ	へ
竹	霜	夏	十	せ	あ	の	た	と
草	雪	秋	百	す	さ	く	れ	ち
石	山	冬	千	京	き	や	そ	り

本当にこんな棋譜法が使われていたのかどうか私は知らないのですが、「いろは」が終わった後は法則性がないので、かなり慣れないと憶えるのは難しそうに思いました。

今回のように「安定な元素に各マスを対応させる」のも別の意味で憶えるのは難しいのですが、他にも色々な方式を考えれば、中にはもっと分かり易くて汎用性のある隠しメッセージの潜ませ方が見つかるかもしれません。

橘圭伍さん

歩の消去と桂の消去が可逆手順になると勘違いしていて苦労しました
飛発生・歩の消去・桂の消去の展開が不可逆なのが非常に巧いですね
易しいはずなのに解けない……思い込みは怖いです

☆ すいません、第 146 回出題時にミスしたばかりなのにまたやってしまいました。

橘さんの解は銀の代わりに飛合（34 飛 24 飛 15 歩 同玉 27 桂 同飛生以下として）としているのですが、これだと 27 桂に 14 玉とできるので詰みません。すぐにお知らせすれば正

答を貰えたのは間違いないので、解答番付には正答と同様に加点しておきます。 それにしても最近ミスが多いです…

洞江元太さん

以前に偉そうなメールを送っておいて前回解けなかったの、今回は解かなくてはと思い解図しました。

禁欲はあまり解いたことがないのですが、しばらく眺めていただいたい筋は見えてきました。もうしばらく眺めていたら解けたのですがそこからが面倒でした。

手数を暗算で数えていたら手数が微妙にずれて、結局盤に並べて数えてしまいました（汗）。

こういうパズルっぽいフェアリーは大好きです。

☆ この作は桂の数と歩の数の両方が絡んでくるので、手数計算が面倒ですよ。

私も解答のときは、たいてい頭の中で手数を数えるか、手順を全部書いてから手数を数えるのですが、手数が微妙に違うときが問題です。

（大幅に違う時は、答が間違っているということなので分かり易い。）

この時には盤駒や Kifuw 上で実際に駒を動かして手数を数えるのですが、フェアリーだと変な駒があったり駒数が足りなかったりして、いろいろと面倒です。

ここで手順再生に使っている flash や Silverlight のプログラムを改造して、そういった用途にも使えるようにすることもやりたいのですが、今の所手付かずです。

いったいいつになることやら…

隅の老人Bさん

過ぎたるは何とやら、持駒が多すぎるとは！
持駒が桂と歩だけなら、幾手かな？

☆ この構図だと持駒が桂と歩が1枚ずつの場合は15手で、桂と歩が2枚ずつの場合は29手で詰みますが、桂と歩が各3枚以上の場合は桂の枚数が歩より少ない時は詰まないようです。（例えば桂4歩5なら詰むが、桂4歩4だと詰まない。）

この性質をうまく応用して枚数に絡んだトリッ

ク作が作れば面白いのですが…

瘋癲老人さん

分かり易い持ち駒消化問題だが、桂までに何歩使っておけばいいのか計算しなければいけないのが煩わしいか。

最近頃にもものぐさになっております。

☆ 単純作業だと却ってやる気が起きないのは人間のサガですね。

もっと計算のややこしい問題の方が瘋癲老人さんの意欲を掻き立てることができたかも。

☆ 何だか WFP13 号は予想以上の出題数になっていますね。常設作品展 8+1 題、Fairy of the Forest 10 題、全国大会記念作 1 題、

JIGSAW BOX 4 題ですか… 数だけでなく内容も手強そうです。まだ届いていませんが、詰パラのフェアリーランドも何だかハードそう。

それに輪を掛ける形になってしまいますが、次週の出題も予定通り行います。投稿作品で（性能変化や着手制限など条件の付かない）協力白玉詰を予定しています。今月はきっとフェアリー解答者には試練の月なのでしょう。ファイト！

（2009.8.2 七郎）

Fairy of the Forest #20 結果発表

- 2009年05月18日：課題発表：単玉の無防備図式（協力詰）
- 2009年07月15日：投稿締切
- 2009年07月18日：出題
- 2009年08月15日：解答締切
- 2009年08月18日：結果発表

■ 結果発表

たくぼんー久しぶりにかなりハードな作品展したが、満足度は100%です。

10題も集まったのは久しぶりのことです。力作も多く、特に20-10は掉尾を飾る大作でした。今回は作者にお願いして、自作解説を担当していただきました。七郎氏には改めて御礼申し上げます。

【今回の解答者】

(敬称略、到着順、○は全題正解者)

○たくぼん、隅の老人B、雲海、神無七郎

全解は、たくぼん氏お一人。隅の老人B氏は、1題記入漏れと思われます。

酒井博久

■ 20-01 雲海 協力詰7手

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
									一
									二
			角						三
									四
									五
				王					六
							角		七
									八
									九

持駒 桂

75角 66飛 同角 56玉 68桂 65玉 64飛
まで7手

作者ー前回のたくぼんさんの作品で、1段上げると生じる余詰を拝見して、飛角桂での詰め上がりだったのですが、それに面白味を感じて創りたくなりました。それで模索した結果、これを得ました。取柄は初形と飛合かな。金合を少しでも読んで頂ければ十分嬉しいです。

☆「前回のたくぼんさんの作品」というのは、前々回の18-02協力詰8手（WFP 8号結果発表）のことだと思います。詰上り形は同一ではないのですが、巧くアレンジしてあります。

たくぼんー初形角2枚で表現できれば上出来。解ければなんだ～ですが、結構悩みました。

神無七郎ー桂の使い道を考えると易しいですが、盤の端を使わない空中での詰上りは気持ちいい。

隅の老人Bー初手は6通りしかないが、風潰しで半日がかり。

☆同じ作者の20-08や20-09もそうですが、角でどちらから王手するのか、迷わせるのがいいですね。

作者ー上(75)か?下(39)か?今回は上でした。20-8へ続く。

■ 20-02 伊達悠 協力詰9手

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
									一
									二
									三
									四
									五
									六
									七
			角	銀	角				八
			銀	王	銀				九

持駒 なし

48銀 同玉 57銀 38玉 56角 47飛 同角

39玉 29飛 まで9手

☆伊達氏からは短編4作をいただきました。簡素図が多いので同一作を気にされていたのですが、幸いなかったようです。

雲海—一角を取らせる手が意外と見えず、少し手間取りました。

たくぼん—ふむ。これは・・・角を取らせるのが意外（でもないか）。

隅の老人B—大きい駒から順に合駒選び。飛合は最初、一丁上がり。

神無七郎—すかし詰禁止でなければ中央に戻る手が成立。（試しに fm で「すかし協力詰」で検討したら唯一解でした。）ルールを知らない人に見せたら、そっちを答えるかも。

☆4手目 59 玉、68 銀直、58 玉、67 角、69 玉、47 角までですか。普通詰将棋の収束にありそうですね。

■ 20-03 伊達悠 協力詰 9手

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
									一
									二
									三
									四
									五
								歩	六
								銀	七
								銀	八
								銀	九

持駒 なし

28銀 同玉 37銀 同玉 38銀引 28玉 37銀 38玉 48銀上 まで9手

たくぼん—これは面白い。27 銀が邪魔とは思わなかった。

雲海—解けてから 27 銀が邪魔だったと気付きました。

神無七郎—邪魔駒消去の入った手順が良く、すべて斜めの利きで詰ませる詰上りも美しい。26 歩さえなければ・・・と惜しまれる。

☆ 26 歩は4手目限定のためですか。仕方ないとはいえ、やはり残念。

隅の老人B—銀繰りで良かった。金繰りなら大変ですね。

☆この短評、最初意味が分かりませんでした。「金繰り」ですね（笑）。

あ、そう言えば・・・。前回の 19-05 七郎氏作協力詰 63 手への隅の老人B氏の「強欲詰では歩、どちらが先に出来たのかな。」という評に対して、私は「これは OFM 第143回出題の七郎氏作のことでしょうか？」とトンチンカンな答えをしていますが、これは第9回 WFP 作品展の③七郎氏作強欲協力詰 43 手を指していたのですね。結果稿（WFP11号）を見て初めて気づきました。この場を借りて、訂正&お詫びしておきます。

■ 20-04 伊達悠 協力詰 11手

	9	8	7	6	5	4	3	2	1	
										一
										二
										三
										四
										五
										六
										七
										八
										九

持駒 なし

47銀上 69玉 58銀 78玉 67銀直 87玉 76銀 77玉 68銀 66玉 67銀右上 まで11手

神無七郎—収束7手は四銀詰では定番の手順。桂を加えてもあまり付加価値が上がっているとは思えません。

たくぼん—59 の桂が初形も詰上りも邪魔に見えるなあ。

雲海一桂の配置が惜しいですね。無かったら、逆Tの字からTの字になる綺麗な作品になるのに。

隅の老人B—最初は 47 銀直と指したが、大サービス、67 銀直に訂正。初形は氷柱？暑い、暑い。

☆作意順の表記については、作者の書かれたとおりを原則にしています。

■ 20-05 伊達悠 協力詰 15 手

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
									一
									二
									三
									四
									五
									六
									七
									八
									九

持駒 なし

48銀 68玉 57銀右 77玉 66銀 76玉
67銀 85玉 76銀 84玉 75銀右 94玉
85銀 95玉 86銀 まで15手

隅の老人B—朝の散歩。解き終わったら、陽は中天。暑いね。

☆詩人ですねえ。（しばしばそう感じます。）

雲海—詰み形がすぐ分かるので、一番簡単でした。

たくぼん— 87 歩はいらないんじゃないの？

☆たくぼんさんは、作意とは逆側に追っていますね。作意手順だと 27 歩のほうが不要です。

神無七郎— 2 枚銀による斜め追いを簡潔に実現した楽しい作。片方の歩は省けるようですが、形重視でしょうか？

☆左右対称がモチーフだったのかも。

■ 20-06 たくぼん 協力詰 35 手

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
と	と	と	と	と	と	飛	飛	金	一
金	金	金	銀	銀	香	角	銀	角	二
歩	桂	桂	桂	歩	歩	桂	と	と	三
						歩	と	と	四
						王	香	と	五
							歩	香	六
								歩	七
					香				八
									九

持駒 銀

46銀 26玉 37銀 17玉 28銀 26玉
37銀 35玉 46銀 44玉 57銀 47歩
同香 46歩 同香 45歩 同香 55玉
56銀 66玉 67歩 76玉 77歩 85玉
86歩 75玉 76歩 64玉 65銀 55玉
64銀 65玉 66歩 74玉 75銀 まで35手

隅の老人B—銀と1歩だけでは、詰みません。玉方の歩を増やしておく、巧妙な(?)伏線でした。

雲海—前半の歩を入手するまでは簡単。後半は詰みの形が一つしかないけれど、少々ややこしく、考えさせられました。

☆後半は歩の連打から銀の捌きですが、意外と粘りますね。

神無七郎—詰上りの想定がしやすく、歩の入手方法も素直なので易しい作。補充する歩を右側に固めるのではなく、左右に散らばせるのは無理だったのでしょうか？

作者—花駒だらけで並べ方も雑。当初は取らせる歩を左辺に置いてと考えていたのだが、非限定だらけで挫折。全てに中途半端でしたね。

☆非限定克服がいかに難関かを物語っています

す。

■ 20-07 たくぼん 協力詰 49 手

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
									一
									二
									三
			飛	飛	銀	銀	銀	銀	四
			角	歩	桂	桂	桂	歩	五
			金	香	王				六
			金	香					七
			金	香		歩			八
			金	香	角		歩		九

持駒 桂歩2

47歩 36玉 37歩 同玉 38歩 27玉
 37歩 38歩 同角 18玉 27角 29玉
 18角 38玉 29角 37玉 38歩 36玉
 18角 27歩 同角 47玉 36角 38玉
 39歩 29玉 47角 38歩 同角 18玉
 29角 27玉 18角 37玉 38歩 47玉
 48歩 38玉 29角 27玉 39桂 36玉
 18角 27歩 同角 37玉 38歩 46玉
 47歩 まで49手

作者一詰型を考えていただく問題。後の雲海作と比べると野暮ったい手順。還元玉がせめてもの主張。

☆隅の老人B氏は、何故か本題の解答が飛んでいました。無解とも思えないのですが…。問題を見落とされたのかな？

雲海一密室物としては易しいと思いますが、還元玉は見事です。

神無七郎一詰上りの想定はしやすいですが、打歩詰を避けるための準備が結構大変。特に48歩実現までの手順の粘りに感心します。

☆48歩を打つのが急所で、突き歩の詰上りにつながります。

■ 20-08 雲海 協力詰 51 手

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
									一
									二
						銀	銀	銀	三
				金	桂	歩	桂	桂	四
				金	桂				五
				金	香			歩	六
				金	香		王		七
				飛	香				八
				飛	香				九

持駒 角

45角 36角 同角 38玉 16角 27歩
 同角左 47玉 25角 36歩 同角上 38玉
 16角 27歩 同角左 47玉 25角 36歩
 38角 同玉 16角 27角 同角 29玉
 38角 18玉 29角 17玉 39角 26玉
 48角 37歩成 27歩 35玉 36歩 同と
 26角 46玉 35角 37玉 46角 同と
 38歩 36玉 37歩 25玉 47角 36角
 同角 35玉 26角 まで51手

作者一次の53手詰のを弄ったものです。使用駒と玉の位置が同じで、異なる初手になったのは幸運でしたが、手数まで同じにすることは許されなかったようです。世の中そんなに甘くないですね。

☆「弄った」・・・何て読むのだろう？ まさか「パロった」？ それはともかく、惜しくも同手数にこそなりませんでしたが、姉妹作として巧くできていると思います。

隅の老人B一初手に49角打、65手で大苦労。どうしても51手では詰みません。この先入観から抜け出すのに、幾日かかったことや。好きな道、この暑いのに、ご苦労なことでした。

たくぼん一角と歩の詰上りを考えたとき一番最初に考えついたのが本作の形。あとは金を46へ運ぶ順を考えればよかったのだが、これはひたすら駒を動かした。序の趣向的な手順もいい導入ですね。

☆角の運動の部分は、20-7とも一脈通じるものがありますね。詰上りに備えて 46 地点を埋めておくのが急所で、それをと金の運用によって実現します。

神無七郎— 55 手から短縮できませんでした。

☆珍しく時間切れでした。

■ 20-09 雲海 協力詰 53 手

				桂	銀	銀	銀	銀		一
			金	桂	歩	桂	歩	歩		二
			金	桂						三
			金	香						四
			金	香						五
			金	香			王			六
			飛	香						七
			飛	香						八
			飛	香						九

持駒 角

49角 38 角 同角 18 玉 45 角 36 歩
 同角 27 歩 29 角 同玉47角 38 角
 同角 同玉 39 歩 37 玉 19 角 28 角
 同角 同歩成 38 歩 同と 19 角 28 角
 同角 48 玉 39 角 37 玉 48 角 同と
 15角 26 角 同角 46 玉 19 角 28 歩
 同角 37 歩 35 角 同玉 17 角 26 角
 同角 46 玉 35 角 47 玉 25 角 38 玉
 16角 27 歩 39 歩 47 玉 25 角 まで53手

作者— 適当に密室を作り、fm を走らせて不詰と詰みの境界を探し、後は玉の位置と手数と密室の面積を調整して出来たものです。PC & fm 任せの創意ゼロの作品です（笑）。

☆密室物といえば、個人的には「なりなり」シリーズで鳴らした神無大九郎氏が思い浮かびます。そういえば、太郎氏が大九郎氏から授けられた密室物創作の秘伝は、ほんの一言だった由ですが・・・。機械任せにしろ、少なくともセンスは必要なのでしょう。

隅の老人 B— 今度は初手 49 角打が正解とは

ね。ボケ爺でも、多少は学習能力がある。前作のおかげで、短時間（ウソ、ウソ）で攻略。1歩があるの、ないので、大違い。

たくぼん— こちらの詰上り想定は時間がかかりました。これが思いつくかどうかのポイント。初手は 20-8 が 45 なので 49 角と決め打ちでしたが、そこからはほとんど闇雲流作業でした。2作とも好作。

☆こちらも前局同様、2枚角による詰上りですが、確かに想定が難しくなっていますね。37 歩の発生が急所と思いますが、その後も粘るので息を抜けません。

神無七郎— 57 手から短縮できませんでした。

☆やはり時節柄、時間不足でしたか。

■ 20-10 神無七郎 協力詰 215 手

										一
										二
飛	飛	角	銀	と	と	と	と	銀		三
歩	香	歩	と	と	と	と	銀	金		四
桂			香	金	歩	歩		桂		五
	歩		桂	金	金	桂				六
			歩	歩	銀					七
				香		香		歩		八
		王								九

持駒 角

97角 88 歩 同角 68 玉 79 角 77 玉
 88角 86 玉 97 角 77 玉 88 角 68 玉
 79角 59 玉 68 角 48 玉 59 角 39 玉
 48角 28 玉 39 角 27 玉 28 歩 26 玉
 48角 37 歩 27 歩 25 玉 26 歩 16 玉
 17歩 同玉 39 角 28 歩 同角 26 玉
 37角 17 玉 26 角 28 玉 37 角 39 玉
 48角 28 玉 29 歩 17 玉 39 角 28 歩
 18歩 27 玉 28 歩 26 玉 48 角 37 歩
 27歩 25 玉 26 歩 16 玉 17 歩 同玉
 39角 28 歩 同角 26 玉 37 角 17 玉
 26角 28 玉 37 角 39 玉 28 角 48 玉
 39角 59 玉 48 角 68 玉 59 角 79 玉

68角 88玉 79角 77玉 88角 67玉
 68歩 同玉 79角 59玉 68角 48玉
 59角 39玉 48角 28玉 29歩 17玉
 39角 28歩 18歩 27玉 28歩 26玉
 48角 37歩 27歩 25玉 26歩 16玉
 17歩 同玉 39角 28歩 同角 26玉
 37角 17玉 26角 28玉 37角 39玉
 48角 28玉 29歩 17玉 39角 28歩
 18歩 27玉 28歩 26玉 48角 37歩
 27歩 25玉 26歩 16玉 17歩 同玉
 39角 28歩 同角 26玉 37角 17玉
 26角 28玉 37角 39玉 28角 48玉
 39角 59玉 48角 68玉 69歩 77玉
 59角 68歩 同角 88玉 79角 87玉
 88歩 86玉 87歩 95玉 68角 77桂
 同角 96玉 88桂 97玉 86角 88玉
 77角 79玉 68角 88玉 79角 87玉
 88歩 86玉 68角 77桂 同角 97玉
 86角 88玉 77角 79玉 68角 88玉
 79角 87玉 88歩 86玉 68角 77歩
 87歩 97玉 79角 87玉 88歩 86玉
 78桂 同歩生 87歩 75玉 97角 86桂
 同角 76玉 88桂 67玉 68歩 迄 215手

雲海—角と歩だけでは詰ませられないのは分かるのですが・・・ギブアップ。後で鑑賞します。

隅の老人B—初形を並べて考える。桂を取らせて、取り戻す。角桂歩の協力で詰み？先ずは桂を取らせよう。さて、それから先が分からない。

右往左往した幾日ぞ、この暑いのに、ご苦労なこと。吃驚したのは、最後の突き歩。上手く出来てる、草臥れた。

たくぼん—単玉の無防備最長手数作ですか。恐れ入りました。2種類ある右辺の歩の増幅機構や 86歩や 67歩消去のタイミング、詰まり型の探索と、考えどころ満載でした。

恥ずかしい話ですが、207手目 68角、77桂とやって4手オーバーでかなり悩んでしまいました。手数が215手になったときは嬉しかったですね。まさに解答の醍醐味を十分味合わせて貰いました。

それにしても七郎さんの作品の質の高さには驚くばかりですね。“同じ時代に生きてくれてありがとう”と中島みゆきも言っていました

が、私もその言葉を贈ります。

☆感激が伝わる、熱いメッセージですね。4手長い紛れに陥ったのは恥ずべきではありません。もともと七郎氏の構想中にあった手順ですから。では、以下は、作者の自作解説をお楽しみください。

【自作解説＝神無七郎】

本作は持駒増幅と置駒消去を組み合わせた作品です。

持駒増幅は2歩を使って3歩を入手する仕組みですが、最初は 88歩合を取って入手した1歩しかないの、18に置かれた歩を持駒に加えます。また、受方も歩が不足している状態なので、前もって 86歩を消去することを忘れてはいけません。初手からここまでの 44手が本作の序奏です。

ここから持駒増幅を行うのですが、相変わらず歩は不足しているため持駒増幅は1回しかできません。そこで 67歩の消去を行って使える歩を増やします。これが 45手目から 94手目までの手順です。使える歩が1枚増えたので今度は持駒増幅を2回行うことができます。

(95手目から148手目)

ここからはもう右辺には戻りません。持駒の歩が4枚を使って 95桂を消去して収束します。この収束は元々別の作品のネタとして用意していたもので、壁駒となる歩の発生と移動を含むかなり難しい手順だと思います。

ところで、本作は簡単な改造で手数を伸ばすことが可能でした。

協力詰 219手

										9	8	7	6	5	4	3	2	1	
																			一
																			二
										飛	飛	角	銀	と	と	と	と	銀	三
										歩	香	金	と	と	と	と	銀		四
										桂		歩	香	金	歩	歩		桂	五
											歩		桂	金	金	桂			六
													歩	歩	銀				七
														香		香		歩	八
												王							九

持駒 角

97角 88 歩 同角 68 玉 79 角 77 玉
 88角 86 玉 97 角 77 玉 88 角 68 玉
 79角 59 玉 68 角 48 玉 59 角 39 玉
 48角 28 玉 39 角 27 玉 28 歩 26 玉
 48角 37 歩 27 歩 25 玉 26 歩 16 玉
 17歩 同玉 39 角 28 歩 同角 26 玉
 37角 17 玉 26 角 28 玉 37 角 39 玉
 48角 28 玉 29 歩 17 玉 39 角 28 歩
 18歩 27 玉 28 歩 26 玉 48 角 37 歩
 27歩 25 玉 26 歩 16 玉 17 歩 同玉
 39角 28 歩 同角 26 玉 37 角 17 玉
 26角 28 玉 37 角 39 玉 28 角 48 玉
 39角 59 玉 48 角 68 玉 59 角 79 玉
 68角 88 玉 79 角 77 玉 88 角 67 玉
 68歩 同玉 79 角 59 玉 68 角 48 玉
 59角 39 玉 48 角 28 玉 29 歩 17 玉
 39角 28 歩 18 歩 27 玉 28 歩 26 玉
 48角 37 歩 27 歩 25 玉 26 歩 16 玉
 17歩 同玉 39 角 28 歩 同角 26 玉
 37角 17 玉 26 角 28 玉 37 角 39 玉
 48角 28 玉 29 歩 17 玉 39 角 28 歩
 18歩 27 玉 28 歩 26 玉 48 角 37 歩
 27歩 25 玉 26 歩 16 玉 17 歩 同玉
 39角 28 歩 同角 26 玉 37 角 17 玉
 26角 28 玉 37 角 39 玉 28 角 48 玉
 39角 59 玉 48 角 68 玉 69 歩 77 玉
 59角 68 歩 同角 88 玉 79 角 87 玉
 88歩 86 玉 87 歩 95 玉 68 角 77 桂
 同角 96 玉 88 桂 97 玉 86 角 88 玉
 77角 79 玉 68 角 88 玉 79 角 87 玉
 88歩 86 玉 68 角 77 桂 同角 97 玉
 86角 88 玉 77 角 79 玉 68 角 88 玉
 79角 87 玉 88 歩 86 玉 68 角 77 歩
 87歩 97 玉 79 角 87 玉 88 歩 86 玉
 78桂 同歩生 68 角 77 桂 同角 97 玉
 86角 88 玉 97 角 77 玉 86 角 76 玉
 88桂 67 玉 68 歩 まで 219 手

要は 75 地点を埋めただけです。創作途中で桂を 75 地点に置こうとしてた（そうすると収束でもう一度右辺に戻す手順を入れられる）名残りを、そのまま引きずってしまっていたみたいです。もし、この手順で 4 手長い紛れに悩まされた方がいたら申し訳ありませんが、本作は上の 219 手の図に差し替えたいと思います。

ついでに楽屋裏の話の一つしておきましょう

う。

角追い作品の創作は常に非限定に悩まされるのですが、本作においてもそうでした。

例えば本作で 68 角・88 玉の形が出現したとしましょう。ここから右辺に戻る方法は次の 2 通りあります。

77 角 79 玉 88 角 68 玉 69 角 59 玉 …
 79 角 77 玉 88 角 68 玉 69 角 59 玉 …

違いは右回りか左回りかだけ。しかも頻繁に同様の形が出現するので、多くのアイデアがこれで潰されました。上で紹介した 75 桂配置の案もこれで潰れたものの一つです。

「多少の非限定は許容しても良いのでは？」という考え方もありますが、今は機械検討が可能な時代ですし、作者側にこのくらいの（完全限定という）足枷がないと、解図の負担と釣り合わないような気がします。

☆単玉の無防備図式協力詰の長手数記録が一部で話題になった頃、具体的作例としては 80 手後半のものしかありませんでした。そのことは、七郎氏もおっしゃるとおり、いかに非限定を克服するのが難しいかを裏付ける証でもありました。

そこへ、いきなりその 2 倍半もの長手数作が登場したわけです。改良 219 手の記録が破られるのは、いつのことになるのでしょうか……。

【総評等】

隅の老人 B—連日の猛暑で、何もする気がしない。ただ、ぼんやりと無為徒食に励んでいきます。それでも酒井さんの処ぐらいはと（失礼）頑張りました。長手順、解けても解答書きで、また汗です。

☆いつも最真にさせていただき、ありがとうございます。

神無七郎—雲海氏の 2 作が解けませんでしたが、もう締切ですので送ります。両方とも 4 手長いので同じような原因で躓いているのかもしれない。

☆雲海氏は七郎さん作が解けず。双方痛み分け

のような格好になりましたね。

雲海—今月はフェアリーのイベントが盛り沢山で解図にかなり疲れました。

☆私も今回は疲れました。時間不足で、ほとんど短評&七郎氏解説任せだったとはいえ。

Fairy of the Forest #21 課題発表

■ 2009年08月18日：課題発表：初形または詰上りが都玉（協力詰）

□ 2009年10月15日：投稿締切

□ 2009年10月18日：出題

□ 2009年11月15日：解答締切

□ 2009年11月18日：結果発表

■ 課題発表

秋の出題は、九州Gと同一課題になります。ということで、「初形または詰上りが都玉」です。

協力詰に適合しているかどうかは分かりませんが、多数の投稿をお待ちしています。

メールにて下記まで。

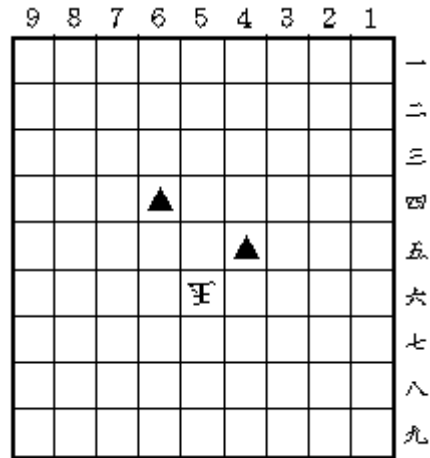
酒井博久 (sakai8kyuu@hotmail.com)

第25回詰将棋全国大会記念作解答

神無太郎

神無太郎作

覆面ばかり詰 5手 5解



持駒 ▲

【作意】

覆面を剥がす過程まで含めて書くのは煩わしいし、読むときもかえって分かりにくいと思うので、覆面を剥がした状態での手順を書いておきます。覆面の剥がし方は必ずしも一意ではありませんが、他にどのような可能性があるのかの確認は容易だと思うので読者諸氏にお任せします。

① 55 金 46 玉 26 飛 35 玉 24 龍 まで 5手
(45 ▲=金、 64 ▲=龍、持駒▲=飛)

② 36 飛 57 玉 68 龍 47 玉 46 金 まで 5手
(45 ▲=金、 64 ▲=龍、持駒▲=飛)

③ 46 飛 55 玉 65 飛 54 玉 64 金 まで 5手
(45 ▲=飛、 64 ▲=飛、持駒▲=金)

④ 74 馬 65 飛 46 飛 55 玉 45 金 まで 5手
(45 ▲=飛、 64 ▲=馬、持駒▲=金)

⑤ 55 金 67 玉 87 飛 76 玉 65 馬 まで 5手
(45 ▲=金、 64 ▲=馬、持駒▲=飛)

【最初にお気に入り】

第 25 回詰将棋全国大会にちなんで、5 手詰 5 解（ $25 = 5 \times 5$ ）というのはもちろんこじつけ。③（飛車の品切れを証明して金で留め）を作意に設定してつらつら作っていたら 5 解になってしまったのでした。④の合駒で飛車を 1 枚減らすのは完全な想定外。⑤の玉の軌跡から 64 ▲≠龍が言えるのも我ながら感心していません。

別方向に発展させたのが、下記の条件を満たす完全作を作れという作図問題。

ルール：覆面ばかり詰
盤面：裸玉
持駒：覆面駒のみ

たぶん唯一解だと思います。

本題に戻って、狙いというか各手順の n 手目同士がすべて互いに異なっているところが非常に気に入っています。①と⑤の初手は一見同じようですが、覆面の剥がされ方が異なるので、あくまでも異なる手だと強弁するつもりです。

①の初手 45 → 55 ▲=金、全、圭、杏、と
⑤の初手 45 → 55 ▲=飛、金、全、圭、杏、と

実のところ、覆面ルールの同一視すべきなんだらうとは思っていますが。

【さて、解答諸氏のコメント】

たくぼん

飛（龍）と金の区別がテーマとなっているので考え方は分かりやすい。

しかし紛れが多く時間は掛かりました。個人的には③の素直さが好きですね。

★さすがですね、作意をきちんと見抜いていらっしゃいます。紛れの多さについては弁明のしようもありません。

雲海

ルールを殆ど理解できず、WFP3の JUKE BOX を参考に解答です。

もちろん合っている自信は皆無です。

解図はひたすら風潰しでした。一体何作分解いたのだらう？

パズルっぽさが分からなかったためか、良さが

あまりわかりませんでした。

★ JUKE BOX の作を参考にしたのは失敗でしたね。なにしろ単純な覆面詰ではないものばかりなので。③に気づいてもらえれば多少は面白さが感じられたかもしれません。なお、雲海さんの解答は、いずれも最終手に金以外の可能性が残っていきおり、詰が証明できていませんでした。

市村道生

行き先の非限定を逆に利用した作品。

初夏を想わせる、芳ばしい爽快感があります。

★市村さんの解答も雲海さんと同様最終手が金打の証明できていませんでした。例題をつけた方がよかったですね。

【最後に創作法】

お気に入りのところで書いたように、本作、最初から 5 解を狙っていたわけではありません。

f m を使った創作の結果、5 解になったものです。しかし f m は覆面ルールは未サポートです。ではどうやって作ったか？ いずれの手順でも、棚橋一雄氏が詰パラに連載していた「詰み上がり原型論」に登場しそうな効率的な詰上りになります。このあたりに f m を使って本作を効率的にチェックするヒントがあるんですが、具体的手法は割愛。公開されている機能の範囲しか使っていないことだけ言っておきます。

【解答者（解答到着順、括弧内は正解数）】

たくぼん (5)、雲海 (0)、市村道生 (0)

詰将棋メモ

推理将棋第 24 回出題解答

担当 タラパパ

出題日 : 2009年 7月 3日

解答締切 : 2009年 7月 20日

24-1 初級 まささん作 成り駒は作ったけれど 9手

「さっきの将棋はどうなった？確か6手目をどう指すか長考していたね。」

「あの局面では僕は成り駒を作っていて優勢だと思ったんだけどな。」

「というと、負けちゃったのかい？」

「僕が玉を寄った手が悪手で、9手で詰まされちゃったよ。」

(条件)

- ・ 9手で詰んだ
- ・ 5手目を指し終えた時点で後手の成駒が盤上にあった
- ・ 後手は玉を寄った

出題のことば (担当 タラパパ)

5手目の着手が推理できればほぼ解決。攻防の一手を考えてください。

推理将棋第24回解説 担当 タラパパ

今月の出題では中上級の難易度を見誤った結果、中上級で無解続出で大失敗でした。予想以上に難問だったらしく、もっと強力なヒントを出すべきだったと後悔しきり。そこで次回以降、この欄のメッセージ機能を活用することを思いつきました。出題時のヒントに加えて、今回は15日頃に追加ヒントを出してみようと思います。そういえば今回、出題者から解答なしという珍記録を樹立(汗)

推理将棋24-1 解答

- ▲6六歩、▽3四歩、▲6五歩、▽7七角成、▲6八飛、▽6二玉、▲6四歩、▽7二玉、▲6三歩成 まで9手で詰み

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
香	桂	銀	金		金	銀	桂	香	一
	飛	王							二
歩	歩	歩	と	歩	歩		歩	歩	三
						歩			四
									五
									六
歩	歩	歩		歩	歩	歩	歩	歩	七
	角		飛						八
香	桂	銀	金	王	金	銀	桂	香	九

持駒 歩

後手が4手目に成駒を作れる駒は角だけです。77か88に成った角を先手は取らなかったこととなります。88であれば、先手は77歩と突いて角を取らせたことになり、飛角の大駒はおろか桂馬さえ活用できませんから、後手玉に迫るなど無理な話。それならばと、96歩から97角を考えても、77角成が王手では回避の一手が無駄遣いに終わって失敗します。

77角成の王手に対して受け一辺倒の手では、到底のこと後手陣を脅かすことができません。

唯一無二の攻防手段は、もうお判りですね。77角成に68飛と回り、この飛車を足がかりに後手玉を詰ませる手順でした。

詰み形で考えられるのは2通り。62玉～72玉か、62玉～51金左。条件「後手は玉を寄った」から作意順に限定されます。

作者 「角を使わない事に想到すれば容易に解けますので、初級問題として客寄せに使えると思います。」

■実は原作意は8手目が51金左でした。今回、より解き易くと72玉を作意にしたのですが・・・。

鈴木康夫 「66歩、34歩、65歩、77角成、68飛、62玉、64歩、51金左、63歩成まで9手で先手の勝ち、では解答にならないですよ。4手

目が成りである必要から2手目34歩、4手目77(88)角成は必然。玉が寄ったのだから後手の残りの2手は金の移動と後手玉の移動。よって後手玉の位置は必然的に41か61。王手を受ける手を除いた4手でその二カ所に利かせる事の出来る駒は馬と桂しかないのだけれど単騎では詰みが無い。よって不可能、が私の結論ですが、どこが間違っているのか楽しみです。」

■ほとんど正解なのに、見えないときには簡単な手が見えない。「玉が寄った」で、一度だけ動いたと先入観にはまる。作意変更がアダになってしまったのか？

ミニベロ 「Norman氏の名作とは又違った味わい。」

■Norman氏の名作とは、mixiで出題された10手問題。解答強豪を軒並み苦しめながら、作意にたどり着けば「こんなに簡単なの？」という名作。

本局はそれを更にあっさりまとめた作品でした。

渡辺 「後手34歩から77角成は必然。5手目を指した時点で77馬は取れず、しかも77馬が王手ではいけません。とすれば68飛から63歩成までの詰みの筋がなく、66歩で角道を邪魔しないためには68飛は5手目に決定。8手目が51金左もあるため1条件にならなかったのは作者としては口惜しいところではないでしょうか？」

■51金左、ハタで見ても悔しいところ。

はなさかしろう 「5+2手の詰みはいろいろあるんですね。シンプルなベースにユニークな77角成。鮮やかでした。」

■言ってみれば、26歩以下7手基本形のアレンジですが、成駒を残す着眼がアイデア。

竹野龍騎 「2、4、5手目がすぐに分かってすっきり。相変わらず条件付けが巧い。」

■5手目が分かれば解けたも同然。こういう流れが初級の理想なのでしょう。

はらたっと 「4手目77角成がみえるだけにタ

ラパパさんヒントの「5手目が攻防の手」で68は金や銀ではなく飛車だと気づけばすぐ見ええました。タラパパさんさまです。残りはまだです。回答履歴コーナーができたのでとりあえず締め切り前に一度投稿してみました。

(笑)」

■「5手目が攻防の手」は、ヒントが大きすぎたかも。

隅の老人B 「猛暑、額に汗で考える。解けたのは、たったの1題。宜しくお願いします。解ければ、「なあーんだ」、解けないときは、「こん畜生！」口惜しい時の方が多いです。」

■ほとんどの方が1問正解でした。ヒントの失敗を反省せねば(><)

魚熊 「これだけは初見で解けました。あと2問は投了です。」

■今思えば、初級と中上級のギャップが大きすぎましたか。

宮谷保可楽 「68飛を軸に、あの7手詰をアレンジしたような感。笑いました。というわけで、解けたのはこれだけでした。これでもかなり疲れました。」

■笑える要素のある推理将棋って最高ですね。

S. Kimura 「1手目と3手目で角を働かせることを考えたので、はまりました。7手詰めのお題ですが、条件が上手いといしか言いようがありません。」

■先手の角を使うのは推理将棋の基本ですが、本局には当てはまりません。

○術師 「玉寄りには金が動いてその空きマスに玉が動くのを最初に考えましたが、そこから考えていても中々考えが進まないのをやめました。後手の成駒を直後に先手が取らないで、かつ必然性のある手順となると、△77角成～▲68飛になりますね。そこから先はスムーズに解けました。この手順で玉寄りってなんだろう・・・と思ったら、金寄りの防止なんですね」

■「玉が寄った」ではなく「金が寄った」なら、もっと易しかったのか？

はてるま 「「攻防の5手目」がいいヒントでした。最後は「金を寄った」でも成り立ちそうですね。」

■原作意はそれでしたが、どちらが優るとも言い難いところ。

正解：11名

魚熊さん S.Kimuraさん 隅の老人Bさん
竹野龍騎さん はてるまさん
はなさかしろうさん はらたつとさん
○術師さん ミニベロさん 宮谷保可楽さん
渡辺さん

24-2 中級 橘圭伍さん作
もぐらたたき 11手

日和「後手が62の地点で詰まされた将棋、普通に見えますね」

美雪「11手で詰まされた時点で既に異常だと思いますが…普通というのはどの辺りがですか??」

日和「成れる時には必ず成っているじゃないっすか」

美雪「でも、良く見ると変な所もあるんですよ?」

日和「どの辺っすか?」

美雪「駒頭への着手が玉飛角金銀桂香歩頭への1回ずつだけなんですよね。普通ならもっとあると思うんですけど…」

日和「ですねえ。でも、後手は歩頭に指された成駒を何故スルーしたのか…」

(条件)

- ・ 11手で詰んだ
- ・ 成れる手を指した時には必ず成った
- ・ 駒頭への着手が玉飛角金銀桂香歩頭に各1回だけあった
- ・ 歩頭に指された成駒を、後手は取れたのに取らなかった
- ・ 62の地点で詰んだ

※ 駒頭(すぐ上マス)の着手は、自駒・相手駒を問いません。

たとえば、76歩、32金、33角成、62玉・・・は、3・4手目がどちらも金頭の着手で条件違反。

出題のことば (担当 タラパパ)

なりふり構わずに駒頭の手を指さないと条件が満たせませんが。

推理将棋24-2 解答 担当 タラパパ

- ▲ 7六歩、▽ 3二飛(銀頭)、
- ▲ 3三角成(飛頭)、▽ 6二玉(金頭)、
- ▲ 2三馬(角頭)、▽ 8八角成(桂頭)、
- ▲ 1四馬(歩頭)、▽ 1二飛(香頭)、
- ▲ 4一馬、▽ 6四歩、
- ▲ 6三金(玉頭) まで11手で詰み

	9	8	7	6	5	4	3	2	1	
一	香	桂	銀	金	王	馬	銀	桂	香	
二				玉					飛	
三	歩	歩	歩	金	歩	歩			歩	
四				歩						
五										
六			歩							
七	歩	歩		歩	歩	歩	歩	歩	歩	
八		銀						飛		
九	香	桂	銀	金	王	金	銀	桂	香	

持駒 歩2

だいぶ前に、mikiで出題された作品です。当時、絶妙のアイデアに唖った記憶があります。全駒種の頭にたった1度ずつの着手、食指を動かされるにも関わらず見たことのない条件。いかにもテーマ創作の橘さんらしい。

11手中8手が駒頭に指す手ですから、なりふり構わずに駒頭の手を指していかないと達成できません。62玉の位置で詰むなら、収束を41馬～63金に決め打ちしましょう。63金が54、64、74か

ら動いた駒なら、どうしても歩頭からの動きになり、「歩頭に指された成駒」に反しますから63金は打つ手に決まります。すると後手が64歩と突くことになる。この64歩のほか、76歩、41馬も駒頭の手ではありえない。残りは全て駒頭の着手になります。

「歩頭に成駒」を先手の馬と考えると、そのラインは、33～24～23～41か、33～23～14～41のいずれか。

しかし、こうした解き方は62玉に41馬～63金の詰上がりを決め打ってこそ。18飛、34歩、78飛、77角成・・・など、可能性を軒並み調べていくとかなり大変そうです。それにしても「もぐらたたき」とは、これ以上ない秀逸な命名でした。

ミニベロ 「これは懐かしい作品です。「各1回だけ」できれいにまとめましたね。」

■ミニベロさんにとっては一度考えたことのある作品。当時解かれたミニベロさんには有利に働きましたね(^)

渡辺 「詰み形を41馬、63金と推定すると、41馬、63金、62玉、64歩の4手が予約されます。さらに41馬の元は88角で76歩が予約されるので、頭の手以外の64歩、41馬、76歩が決定します。よって34歩はなく33角成ですが、金頭と玉頭は予約済なので32飛も必須。すると76歩、32飛、33角成、62玉、以下64歩を含み、41馬→63金まで。残り4手中、先手は歩頭の成駒を含み頭の手で41馬に繋げるので23馬→14馬か24馬→23馬しかなく、どちらも歩角頭となり、後手が香桂頭を指せるのは前者で1通りです。「後手は歩頭の成駒を取らなかった」は不要と思います。

■「取らなかった」までは不要ですが、「歩頭の成駒」は必要。自然な会話にするために「取らなかった」としたのではないのでしょうか。

はなさかしろう 「序盤はこうかと。戦力増強を焦らず、駒頭を稼ぎつつ角飛をどかして41馬のスルーが気持ちいい手でした。」

■奇抜な条件のみならず、飛車をどかしてスル

ーする手順の良さが魅力ですね。

S. Kimura 「76歩 32飛 33角成 などを考えてみましたが、全ての駒頭という条件を満たす手は見つかりませんでした。」

■残念！作意はその先でしたが。

はらたつと 「問題をみて、香頭、角頭（成れるときは必ず成るので馬は不可）あたりのクリアが難関だなあと考えてました。初着手は、76歩34歩22角成から、52角、51金左で最終63角成をイメージ。22の馬を歩頭をクリアしながら寄せるのがダメ。しばらく22角成から抜けられず試行錯誤しましたが、角入手ではどうしても手数が足りないので、76歩32飛33角成から23馬で一気に飛頭角頭をクリアする筋がヒラメキました。後は一気に解決しました。」

■角頭のクリアは、たしかに解図の注目点です。先手の角頭はまず無理なので、後手22角の頭に決まりだと思っていましたが、そうか、52角、51金左の筋も考えられますね。

はてるま 「大駒の頭の着手が限られるので、最初はこうなるところですが、そのあとひと思案・・・。88角成が見えたときはまさに「スッキリ！」でした。こういうアクセントの手があると、作品も引き立ちますね。印象に残りました。」

■88角成によって、はじめて12飛が可能になる。その連携もいい味になりました。

正解：5名

はてるまさん はなさかしろうさん
はらたつとさん ミニベロさん
渡辺さん

24-3 上級 金子清志さん作
9手必至

9手

「9手で投了しちゃいましたね」
「どう受けても次に1手詰の完全な必至。投了するしかないね」

「駒が成る手が1度も無くて必至とは、珍しいな」

「途中の王手のあたりから、変な将棋だとは思ってたんだ」

(条件)

- ・ 9手で必至がかかった
- ・ 10手目に後手がどんな手を指しても11手目に詰む
- ・ 駒を成る手なし
- ・ 途中で王手があった

※ ヤケクソ王手も通用せず、必ず11手目に詰む順をお考えください。

出題のことば (担当 タラパパ)

駒を取る手が予想外に多い。難問なので大ヒントです。

推理将棋 24-3 解答 担当 タラパパ

▲7六歩、▽7二金、▲3三角不成、▽6一玉、▲2二角不成、▽同銀、▲3二角、▽6二角、▲4一角不成 まで9手で必至

	9	8	7	6	5	4	3	2	1	
一	香	桂	銀	王		角		桂	香	
二		飛	金	銀				銀		
三	歩	歩	歩	歩	歩	歩		歩	歩	
四										
五										
六			歩							
七	歩	歩		歩	歩	歩	歩	歩	歩	
八								飛		
九	香	桂	銀	金	王	金	銀	桂	香	

持駒 金歩

駒を成ることなしに、1手詰に対してどんな受けも通用しない必至。意外に難しい命題です。

作意は「いかに後手の駒を縛るか」といった発想で望みます。たとえば、72金、62玉と上がる形。これにより飛、金、銀を事実上縛れるので

すが、二段玉の悲しさで、5~7筋の歩を突く受けに対応できません。この形を一段玉に応用するのが作意手順。角を取って62に打つことで金銀を縛る、コロンブスの卵のような発見でした。

しかし難問すぎて正解者は4名。ヒントの「予想外に多い駒取り回数」4回。ダイレクトに「駒を取る手が4回」では、ヒントの出し過ぎだろうと、「予想外」で濁しましたが、この難問では、そのくらいが適切だったようです。当然のこととしてコメントが少なく、作者の金子さんにも申し訳ないことをしました。

渡辺 「後手62角打は詰みだけでなく、必至にも使える手筋なんですね。必至では玉ではなく金銀の動きを封じる巧い角打です。62香打も考えましたがうまく行きませんでした。ところで「途中王手」の条件は必要なのでしょうか？本解答は手順前後が発生しないのですが、全然別筋の余詰（余必至？）があるのでしょうか？この条件があるばかりに4手目42金(2手目との手順前後が「途中王手」で防がれる)にずっとはまっていました。例えば76歩、72金、33角生、42金、同角生、41玉、31角生、44歩、43銀これも必至ですが、33角の受けには32金、同角、同角成の詰みなので条件違反です(31角には52金など、他は1手で詰むのですが...)。」

■「途中王手」の条件を外すと、76歩、34歩、22角不成、62銀、31角不成、71金、32角、72飛、41角不成迄の余必至を生じます。さすがに金子さん、よく検討されていて担当者は楽チンできます。

鈴木康夫 「76歩、72金、33角不成、42金、同角不成、41玉、31角不成、44歩、43銀まで9手で先手の勝ち。ヒントが無ければ2手目34歩から抜け出せなかったでしょう。でもこの解、2手目と4手目の手順前後が効きますね。」

■惜しい手順ですが、手順前後が利いては作意ではありません。たしかに必至は必至なのですが、前の短評で渡辺さんが指摘されたように、33角とされると1手では詰まないんです。

はなさかしろう 「先手攻撃陣は薄いのに、鉄壁の72金に62角の詰め物までしますか。あはれ

よるべなき後手玉…必至問題面白いです。」

■よるべなき玉に寄り添ってくれた角・・・これが、おじさま虫でした。人生ってそんなものなんでしょうかねえ。

ミニベロ 「詰将棋作家が推理将棋を作ると必至問題になる？普通33・22と不成りで角が働けば、取られずに活躍するもの。あっさり取られる順は全然見えません！」

■そういえば、まささんの推理将棋デビューも難解な必至問題でしたっけ。22同銀は、詰将棋作家ならではの恐るべき手でした。

はてるま 「解けてみれば、なあんだ、という感じですが、なかなか見えませんでした。玉を4筋のほうに移動させる順ばかり考えていたものですから・・・。金銀を移動させたい場所に角打ちで埋めるという発想が面白いです。必至は9手が最短なんでしょうか？」

■1手詰が防げないといった条件も何もしないなら、76歩、34歩、22角成、72金、31馬、62玉、41馬迄7手で必至ですが、とても出題はできません(笑)

正解：4名

はてるまさん はなさかしろうさん
ミニベロさん 渡辺さん

総評

ミニベロ 「かなり昔の作品も登場しているということは、さては選題に苦労しているな？」

■当たらずといえども遠からず。特に初級向けの良問が。

推理将棋第24回出題全解答者： 12名

魚熊さん S.Kimuraさん 鈴木康夫さん
隅の老人Bさん 竹野龍騎さん はてるまさん
はなさかしろうさん はらたつとさん
○術師さん ミニベロさん 宮谷保可楽さん
渡辺さん

当選： S.Kimuraさん

おめでとうございます。

賞品をお送りしますので、賞品リスト から選んだご希望の賞品と送付先をメールでお知らせください。

詰パラ フェアリーランド

全解答成績 (H3~H20)

平成3年度より詰パラ・フェアリーランドの年間解答成績が全て発表されるようになりました。これまでこつこつと集計しておりました結果をここに掲載しようと思います。

なお集計の元は毎年2月号に掲載される解答成績を累計したものです。間違いもあろうかと思いますが、その点ご了承ください。(分かるものは訂正していきます)

【データ】

期間：平成3年～平成20年

対象：詰将棋パラダイス フェアリーランド
(神無一族の氾濫及び特別出題・別館は除く)

発表出題数：1186題

成績対象題数：1174題

解答者数：534名

【各年度ベスト3】

*印は年間全題正解

まずは各年度の年間成績1位～3位までの方を発表します。お名前を見ていると時代を感じてしまいますね。

<平成3年>

- ① 岩本修 79*
- ② 駒井信久 78
- ② 左真樹 78

岩本さんが駒井・左両氏を抑えて1位。

<平成4年>

- ① 駒井信久 73
- ① ダダ 73
- ③ 吉田直嗣 70

解答強豪・吉田氏がH3年以降ベスト3に入ったのはこの年だけというのは意外。

<平成5年>

- ① 雲虚空 117
- ① 今泉桂子 117
- ③ ダダ 116

駒井氏が皆勤でなかったのがベスト3に入れなかった。1位は共にペンネームの2人。有名人です。

<平成6年>

- ① 水野亜美 56*
- ① 駒井信久 56*
- ① 塩田 洋 56*

3人が年間全解で並んだ。水野氏が誰のPNかは知らないが、翌年も1位獲っていますのでかなりの解答強豪です。

<平成7年>

- ① 水野亜美 70*
- ① 駒井信久 70*
- ① 赤木誉幸 70*
- ① 久保 茂 70*

この年は4人が年間全解で1位。久保氏は広島将棋センターにお勤めで妖精賞も受賞したフェアリスト。赤木氏は神無一族メンバー。

<平成8年>

- ① 駒井信久 69*
- ② 赤木誉幸 68
- ③ あーくん 61

駒井氏が3年連続全題正解で3連覇。3年全解は現在まで誰も達成できない偉業です。3位にはあーくん。誰でしょう？

<平成9年>

- ① 駒井信久 74
- ② あーくん 61
- ① メリクリウス 60

駒井氏の年間全解は途絶えたが、4連覇。まさに敵なし。

<平成10年>

- ① 駒井信久 5 8
- ② 池田俊哉 5 2
- ③ 江垣摩耶 5 2

駒井氏 2 位以下を大きく離して 5 連覇。

<平成11年>

- ① 駒井信久 6 4 *
- ① 神無太郎 6 4 *
- ③ 加賀孝志 5 4
- ③ 江垣美香 5 4

ついに最強の敵、太郎氏登場。互いに引かず年間全解で共に 1 位。駒井氏は 6 連覇。2 年連続 3 位の江垣氏も誰かは分からない。(単に江垣さんかもしれない)

<平成12年>

- ① 神無太郎 6 0 *
- ② 駒井信久 5 9
- ③ 20歳浪人 4 5

駒井氏の 7 連覇を阻止したのは、太郎氏。

<平成13年>

- ① 神無太郎 5 1 *
- ① 駒井信久 5 1 *
- ③ 加賀孝志 4 3

この年も太郎氏、駒井氏のデットヒート。結局譲らず両者 1 位。ここ 3 年は 2 人だけの争いとなった。太郎氏 2 連覇。

<平成14年>

- ① 駒井信久 5 9 *
- ② あーくん 5 4
- ③ 市村道生 5 3

太郎氏が解答されなかったため駒井氏独走。あーくん 2 位。そしてついに普通詰将棋を卒業？された市村氏が参戦。いきなり 3 位に…。

<平成15年>

- ① 駒井信久 5 5
- ② 市村道生 5 4
- ③ あーくん 5 0
- ③ 松さか子 5 0

駒井氏 vs 市村氏は、一差で駒井氏が 1 位で 3 連覇。松氏が初のベスト 3。

<平成16年>

- ① 駒井信久 5 6
- ② 市村道生 5 5
- ③ 今川健一 5 1

またしても接戦を制して駒井氏が 4 連覇。そして闇雲流今川氏が初の 3 位に…。

<平成17年>

- ① 市村道生 5 6
- ② 駒井信久 5 0
- ③ 今川健一 4 7
- ③ 須川卓二 4 7

市村氏、参戦 4 年目で初の 1 位。駒井氏 1 ヶ月お休み？今川氏 2 年連続 3 位。誰かさんも初登場。

<平成18年>

- ① 市村道生 5 7
- ① 浜崎 歩 5 7
- ③ 須川卓二 5 4

市村氏連覇。解答新人？浜崎氏も共に 1 位。あの方のペンネーム？

<平成19年>

- ① 浜崎 歩 5 3
- ① 駒井信久 5 3
- ③ 市村道生 5 1

浜崎氏、この年は駒井氏と 1 位を分けるが 2 連覇。市村氏は 3 位。

<平成20年>

- ① 市村道生 5 4 *
- ② 須川卓二 5 1
- ③ 駒井信久 4 9

再び市村氏が1位に振り返り咲き。また6年ぶりの年間全解。駒井氏が1月お休みに誰かさんがたなぼたで2位に…

【1位獲得数】

- ① 駒井信久 1 2
- ② 神無太郎 3
- ② 市村道生 3
- ④ 水野亜美 2
- ④ 浜崎 歩 2

駒井氏はまさに圧倒的。2位市村氏は参加7年で3回1位。4位浜崎氏は参加4年で1位2回と今後に期待大です。年間で1位を獲るにはあらゆるルールに対応出来ないとなかなか獲ることは難しいですね。

【18年間解答参加】

平成3年から20年まで18年間、毎年1題でも正解を入れられた方は、

駒井信久、加賀孝志、佐藤善起、千葉肇、原岡望、伊東史郎、滝本幹夫、以上 7名

短期で集中的に解答参加の方が多中で、コンスタントに毎年解答されるこの方々には本当に頭が下がります。今後も末永く解答をしていただきたいと思います。

それでは平成3年度～平成20年度の18年間の解答成績を公表します。とりあえずは上位100位まで載せます。

なお名前を載せて貰うのは困るという方は、お手数が連絡いただければ削除しますのでよろしく御願います。

1位は圧倒的な正解数で駒井氏、以下 加賀氏、佐藤氏、秋元氏が長きに亘りの解答を積み重ねて上位に入りました。

【解答成績】

1位	駒井信久	1 1 2 4
2位	加賀孝志	8 2 3
3位	佐藤善起	8 0 3
4位	秋元節三	6 8 5
5位	須川卓二	4 9 7
6位	千葉 肇	4 6 0
7位	佐藤宣多	4 5 3
8位	あーくん	4 5 1
9位	原岡 望	4 4 7
10位	弘光 弘	4 1 7
11位	佐々木寛次郎	4 0 9
12位	伊東史郎	3 8 3
13位	市村道生	3 8 0
14位	柿久桂古	3 6 7
15位	今川健一	3 3 9
16位	水野亜美	3 3 4
17位	吉田直嗣	3 2 7
18位	久保 茂	3 1 9
19位	天六辰年	3 1 3
20位	天津包子	3 0 6
21位	藤沢秀樹	2 8 7
22位	喜多真一	2 7 5
23位	石山知人	2 6 6
24位	西村 詩	2 6 5
25位	藤岡靖朝	2 6 2
26位	Sub	2 5 5
26位	滝本幹夫	2 5 5
28位	神無太郎	2 5 3
28位	塩田 洋	2 5 3
30位	赤木誉幸	2 4 9
31位	原田章雄	2 3 9
32位	枅田隆行	2 3 5
33位	林八江子	2 3 3
34位	山口 勇	2 3 2
35位	高橋耕之介	2 3 1
36位	原田清美	2 2 8
37位	八尋久晴	2 1 7
38位	飯山 修	2 1 6
38位	花田 勉	2 1 6
40位	古川剛士	2 1 0
41位	佐藤 司	2 0 8
42位	村田秀作	2 0 0
43位	ダダ	1 8 9
44位	山本和男	1 8 7
45位	岩本 修	1 8 6
46位	神谷 薫	1 8 5

46位	平井康雄	1 8 5
48位	雲虚空	1 8 1
49位	穂上武史	1 7 8
50位	上田安夫	1 7 7
51位	大野 孝	1 6 7
52位	市川樹生	1 6 4
52位	宮谷保可楽	1 6 4
52位	塚越良美	1 6 4
55位	浜崎 歩	1 6 3
56位	永遠旅人	1 6 2
57位	和田裕之	1 6 1
58位	原田隆範	1 5 9
58位	積田隆介	1 5 9
60位	高橋達也	1 5 8
61位	和田 登	1 4 6
62位	岡本吉司	1 4 3
63位	小林 理	1 3 9
64位	天 光生	1 3 7
65位	中出慶一	1 3 0
66位	片桐正二	1 2 9
67位	ほの字	1 2 7
67位	工藤聡明	1 2 7
69位	若木栄登	1 2 6
70位	吉村信雄	1 2 3
71位	河原林隆彦	1 2 1
72位	名越健将	1 2 0
73位	森 義憲	1 1 9
74位	安原嗣治	1 1 8
75位	今泉桂子	1 1 7
76位	西村恒雄	1 1 4
76位	池田俊哉	1 1 4
78位	k z	1 1 1
79位	中山美保	1 1 0
80位	砂川順一	1 0 9
80位	大田啓好	1 0 9
82位	坂本竜雄	1 0 8
83位	小島幸喜	1 0 7
84位	小峰耕希	1 0 4
84位	高木優嘉	1 0 4
84位	縫田光司	1 0 4
87位	中村増一	1 0 2
87位	山岸幸徳	1 0 2
89位	大橋雅道	9 8
90位	小原義孝	9 7
90位	新渡戸壱成	9 7
92位	尾方 充	9 6
93位	石川 歩	9 5
94位	凡骨生	9 0

94位	佐藤 正	9 0
96位	左 真樹	8 8
96位	守護主天	8 8
98位	桑田倫彦	8 7
99位	中沢照夫	8 6
100位	菊田裕司	8 4

以下はネット上でお名前を見る方をピックアップして見ましょう。

114位	石黒誠一	7 0
115位	小五郎	6 9
163位	片上大輔	3 9
165位	西 輝人	3 8
168位	増田智彬	3 7
173位	吉川慎耶	3 6
181位	森 茂	3 1
200位	伊達 悠	2 6
203位	山田嘉則	2 5
206位	小林看空	2 3
224位	宇治正子	1 8
257位	酒井博久	1 3
268位	利波 偉	1 2
276位	真T	1 1
285位	高坂 研	1 0
285位	荻江香木	1 0
285位	松田圭一	1 0
316位	中島清志	8
328位	市島啓樹	7
328位	竹村孔明	7
328位	馬屋原剛	7
348位	赤畠 卓	6
348位	洞江元太	6
348位	北村太路	6
348位	山下繁実	6
348位	武 紀之	6
392位	金子清志	5
392位	中村雅哉	5
432位	風みどり	4
455位	上谷直希	3
455位	しろねこ	3
455位	遊星人	3
455位	小林敏樹	3
484位	神無七郎	2
484位	伊奈めぐみ	2
484位	比江島麻衣子	2
506位	加登屋	1
		以上

妖精賞の系譜 (2)

前回に続き、今月は第4回～5回の妖精賞受賞の作品を紹介していきたいと思ひます。選考は第1回～4回までが読者投票によるもので第5回以降は担当者の独断で決定となっています。

第4回 妖精賞 (1991年)

この期も読者投票が行われたが、全般的に不作ということで票が割れた。得票の一番多かった若島正+上田吉一作のパズルが受賞した。但し、妖精賞推薦投票者は10名と少なく、今期で読者投票はとりあえず終わりとなった。

【短編・中編・長編部門】

該当作なし

【パズル部門】

10名の投票者のうち4票を集めて得票トップとなり、パズル部門として受賞となった。得票2位は1991年11月号の山田嘉則作 鏡詰61手だった。

詰将棋パラダイス 1991年6月号
若島正+上田吉一作 44手

問題

実戦初形から後手玉が51から19へ達する手順を求む。44手

- ① 双方1手ずつ指すこと。王手はかけなくとも良いが、王手放置などの禁手はいけない。取った駒は再使用可。
- ② 後手は4手目以降直前に動いた(打った)駒を必ず取る。つまり同○の連続が義務。

76歩 32飛 33角 同飛 36歩 同飛
38金 同飛生 77桂 同角 68銀 同角
同金 同飛生 66歩 同飛成 75歩 同龍
86歩 同龍 96歩 同龍 26歩 同龍
93香 同香 16歩 同龍 42角 同玉
33歩 同玉 24飛 同玉 25歩 同玉
16香 同玉 17桂 同玉 28銀 同玉
19飛 同玉 迄 44手

【達成図】

										9	8	7	6	5	4	3	2	1	
										科	銀	香		香	銀	科	皇		一
																			二
										皇	香	香	香	香	香		香	香	三
																			四
																			五
																			六
														歩	歩				七
																			八
														王				王	九

持駒なし

作者

手順前後等色々キズがありますが、骨格は上記手順に準ずるようです。

解説 (菊田裕司)

20手まではほとんど限定で、最終型は93の駒の違いによる2通りしかない。先手の駒がほとんど動くのはすばらしい。

受賞理由—この手のパズルにつきものの非限定や手順前後はいろいろありますが、新しさと面白さが十分それをカバーしていると思ひます。

★ 現在の推理将棋の隆盛を見るにつけ、18年前にこのような作を発表していた作者の先見の明には頭が下がります。今見ても十分納得できる作品だと思います。22手目以降に手順前後がいろいろありますので現在の作家であれば条件を増やして限定にするように創るかもしれませんね。

★

第5回 妖精賞 (1992年)

この期より妖精賞選考が、読者投票から担当者の独断によるものへ変わった。ちなみにこの期の担当者は菊田裕司氏。

【短編部門】

選考過程が書いていないので他の有力作とかは不明。

詰将棋パラダイス 1992年9月号

山田嘉則作 7手

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
									一
									二
									三
				歩	王				四
				桂		香		L	五
			砲	砲					六
			L		桂				七
									八
									九

持駒 歩

(Lはレオ)

48L 46飛 45歩 同飛 26L 同砲

64L 迄 7手

詰上図

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
									一
									二
									三
			L	歩	王				四
				桂	銀	香			五
				砲		砲			六
					桂				七
									八
									九

持駒 なし

砲—通常は、飛方向に動く。駒を取るときは、駒を1つ飛び越えその先に動く。

L—通常は、飛+角の方向に動く。駒を取るときは、駒を1つ飛び越えその先に動く。

受賞理由—常に新しいものを求める作者の姿勢

に敬意を表して。

作者—この作品は森田手筋のつもりです。普通の森田手筋だったら、合駒させてそれが動けるようになるためにピンはずしが必要になるけど、レオを使うとそれが不要になる。前から飛や香で王手して合駒発生させたらそれを取れるけどレオは斜めに動けるから簡単に飛合に限定になる。ということでレオという駒を使ってあるということなんですね。ほかのレオとかは砲は別に使わなくていいんやけど、これが一番駒数が少なくしてスッキリしているということです。

★初形で初手 45歩は打歩詰。初手48Lとすると45合は26L 同砲 64Lで早いし、46へ飛以外の合駒は26Lまで。飛が発生したことで打歩がすぐに打開でき、45歩以下解決。

【長編部門】

今期の長編賞は、吉田氏のばか自殺スタイルメイト50手。4月号に掲載時は作者以外誰も解けなかった為、詰上図付きで7月号に再出題されたほどの難解作だ。駒井氏、ダダ氏はこの作が解けずにこの年の年間全解を逃した。

詰将棋パラダイス 1992年4月号

吉田直嗣作

ばか自殺スタイルメイト 50手

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
王		と	と	と		と		と	一
			歩		歩		歩	角	二
と	王		桂		桂				三
飛					角			と	四
歩	と		と		と		桂		五
桂		歩		歩		歩		飛	六
	歩								七
									八
									九

持駒 金4銀4香4

72と 同玉 71と 同玉 81金 62玉
71銀 51玉 61金 42玉 51銀 31玉

41金 22 玉 31 銀 11 玉 21 桂成 12 玉
 23と 同玉 24 銀 同玉 11 角生 25 玉
 26香 36 玉 22 香生 45 玉 46 香 56 玉
 42香生 65 玉 66 香 76 玉 62 香生 85 玉
 86香 96 玉 82 香生 87 玉 86 飛 同玉
 84飛 95 玉 85 飛 同玉 84 金 同玉
 83と 同玉 まで 50 手

詰上図

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
王	金	銀	金	銀	金	銀	圭	角	一
	香		香		香		香		二
	王			桂					三
									四
									五
									六
									七
									八
									九

持駒 なし

受賞理由一同月の⑥「天国への階段Ⅱ」と合わせて一本という感じだが、こちらのほうが完成度はともかく新しさを感じる。

★この香の使い方に気が付くかどうか…当時私もチャレンジしたがこの香での開王手は気が付かなかった。

【パズル部門】

作者は2期連続の受賞。新しいものを求める姿勢が評価された。

詰将棋パラダイス 1992 年 6 月号・ 8 月号
 上田吉一作 推理パズル

【ルール】

後手の覆面駒の内訳は、玉飛角金銀桂香歩各1枚ずつで成駒なし。後手は指さず、先手玉のみ動かします。駒取り禁止。相手駒の利きに入れない。手数表記は先手玉の移動回数を示す。

【目的】

後手の覆面駒の正体を8枚共判明させること。

A題 12手

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
									一
▽	▽		▽	▽	▽	▽	▽	▽	二
									三
									四
									五
									六
									七
									八
王									九

持駒 なし

先手玉の軌跡

99 玉 - 88 - 77 - 66 - 55 - 64 - 63
 - 72 - 81 - 72 - 61 - 51 - 41 玉

A題解答図

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
									一
金	銀		桂	歩	香	飛	玉	角	二
									三
									四
									五
									六
									七
									八
王									九

持駒 なし

臨時解説 (斎藤吉雄)

飛と香は1～5筋辺りに使用。7筋から1段目に入ること。つまり6筋か8筋の駒は角か桂で、金や玉は6, 8筋にない。…数回やってみて、これは駒の死角に入ることによって種類を判明させるパズルなのだと気がついた。よって駒の死角は重なってなければならない。あとは1段目を奥へ入れればよい。最初2筋の角、9筋の飛香が消され、動かしながら消していく方法をとった。

平井康雄—最初は到底わかるわけないと思って

いましたが、確かに論理的に考えていけばわかるようになっていきますね。全着手完全限定になっているのには感心。直接近寄りなくても角の証明が出来ることに気付くまでは苦勞しました。

B題 13手

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
		▽							一
	▽								二
		▽							三
▽									四
		▽				王			五
	▽								六
		▽							七
	▽								八
									九

持駒 なし

先手玉の軌跡

35 玉 - 44 - 53 - 62 - 53 - 54 - 65
 - 76 - 85 - 76 - 66 - 57 - 68 - 79
 玉

B題解答図

		飛							一
王									二
	金								三
角									四
	桂				王				五
	銀								六
		歩							七
	香								八
									九

持駒 なし

臨時解説 (斎藤吉雄)

素早く9筋に入るには4, 5, 6段目に角桂があるはず。香と歩、この2種類の駒の死角は全く同じ。77が歩以外区別できないし、先玉は証明のため79を通る。飛金の死角を組み合

わせて上段に置き、キーポイントの62,79,85地点を通ればよい。

天光生一行けるのは角桂の頭と銀の腹歩の2つ前と飛の肩。近寄り難き相手の玉。13手は実に論理的に解ける理想的な配置。

C題 15手

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
								▽	一
							▽		二
						▽			三
					▽				四
				▽					五
		▽							六
						▽			七
							▽	王	八
									九

持駒 なし

先手玉の軌跡

18 玉 - 17 - 16 - 25 - 14 - 25 - 16
 - 27 - 38 - 49 - 58 - 68 - 57 - 56
 - 65 - 54 玉

C題解答図

								桂	一
							王		二
						飛			三
					銀				四
					歩				五
		金							六
						角			七
						香	王		八
									九

持駒 なし

作者解説

33 飛はこれしかない。11Xが桂であることを間接的に主張する為、他の駒の桂筋を通っておく。初手は28が銀ではなく香だと言う為のも

の。

本郷昌幸－4筋7筋の駒にタッチするには33飛以外ありえない。11Xと22Xは区別がつかないが、どちらかが桂ならば、14を通ることで11桂が決まる。28は歩も銀も可dが、香であることを証明するため49を通り17も通る。

D題

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
									一
									二
									三
									四
				王					五
				▽					六
▽									七
▽	▽							▽	八
▽	▽	▽							九

持駒なし

先手玉の軌跡

56玉－46－47－38－49－59－68－77－87玉

D題解答図

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
									一
									二
									三
									四
				王					五
				兵					六
桂				香					七
飛	香							銀	八
角	王	金							九

持駒なし

作者解説

先手玉のみで判明する駒は角桂歩。57歩証明の為59を通る。よって97桂が決まり、香

は八段目にいる。又飛は88,79,28以外である。次に99玉の場合、78と87を通っても98と89の区別がつかない。唯一の可能性は98香と89飛の組合せだけ。つまり28金型になる。しかし28金が香でない証明方法は存在しない。以上のことから99は玉ではない。

若木栄登－99の駒を玉と決めてしまいその壁を破るまでが大変だった。大いに楽しめた。

受賞理由－パズルという性質上とびぬけた作はないが、このアイデアに対して受賞。

★ まさに新しいアイデアの作品。解答者の評でいかに楽しめたかが良く分かる。作者と解答者の関係はこうあるべきと教えてくれる。この後、この様な作品が余り見られないのは残念としかいい様がない。

投稿募集中

ネットでのフェアリー詰将棋の投稿募集締切一覧です。締切日が早いもの順です。投稿先は各々異なりますのでお間違えにないように。

9月20日(日)

詰四会フェアリー作品展

- ・ ルール／フェアリー詰将棋なら何でもOK
- ・ 手数／投稿数：無制限
- ・ 課題／田舎の曲詰

投稿先／たくぼん (takuji@dokidoki.ne.jp)
または9/20開催詰四会に持参下さい。



ギネスに挑戦！フェアリー編2

担当：たくぼん

夢の中の思いつきではありますが、ギネスに挑戦第2弾としてみました。

条件は、

- 1、 初形大駒4枚使用（持駒含む、大駒は攻方・受方を問わず）
- 2、 詰上り盤面に大駒なし
- 3、 ばか詰の完全作

以上の条件で、使用駒最小の作品を求む。

エントリーNo. 1 たくぼん（11枚）

ばか詰 11手

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
									一
									二
									三
									四
									五
									六
					飛	歩	香		七
					角		龍	香	八
		銀	香	角	桂		王		九

持駒なし

29龍 同玉 38角 同玉 49角 同玉 59飛
同玉 68銀 58玉 59金 迄 11手

まず例示したのが私の図。最後の飛が金を取っているので捨駒という感じがしないのはダメですが、条件は「大駒4枚捨て」ではなく「大駒4枚消え」なので・・・もちろん4枚捨てにこしたことはない。

例題として慌てて創っているのです、もちろんすぐに記録は更新された。

13日に帰省中の伊達君よりエントリーです。

エントリーNo. 2 伊達悠（10枚）

ばか詰 9手

9	8	7	6	5	4	3	2	1		
									一	
									二	
									三	
									四	
							王	歩	五	
							歩	香	六	
							飛	角	七	
							王		八	
							飛	馬	香	九

持駒なし

16角 同玉 17飛 同玉 18馬 同玉 19飛
同玉 29金 迄 9手

作者「自玉で開き王手をする筋がなければいいのですが・・・とりあえず、この素材はこのあたりで妥協することにします。一応11枚よりは少ないので。」

★記録に挑戦なので手順は関係ないのだが、4連続捨駒で9手とは切れがある。双玉にして余詰を上手く減らしている。

★さて1桁目前まで来ましたが、次の投稿は14日の神無七郎さんです。またまた驚きの作品。

エントリーNo. 3 神無七郎（9枚）

ばか詰 15手

9	8	7	6	5	4	3	2	1		
									一	
									二	
									三	
									四	
									五	
								銀	六	
						金	歩		七	
							龍	香	王	八
						角	角	飛		九

持駒なし

19飛 同玉 29龍 同玉 38角 同玉 48金

39玉 49金 28玉 39金 27玉 28金 16玉
17金 迄 15手

作者「この課題、突き詰めると「煙詰」になる
と思うのですが、これも一応ミニ煙です。」

★ 9枚→3枚の無防備ミニ煙詰で9枚。流石
です。確かに詰上り3枚は一番究極に近そ
うです。

続いてはKAMU氏

エントリー No. 4 KAMU (9枚)

ばか詰 15手

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
									一
									二
									三
								科	四
									五
							駒		六
				銀		飛	角		七
					角	飛			八
						桂	王		九

持駒 なし

18飛 同玉 28飛 19玉 18飛 同玉 27角
同玉 36銀 16玉 25銀 15玉 26角 同桂
16銀打 迄 15手

作者「タイ記録では意味はないのですが、
せっかく考えたことでもあり一応投稿します。
他の人の図が楽しみです。」

★ 前回初フェアリー作品でエントリーされた
作者が再び参戦。ありがたいことです。作
品は3枚捨てて4枚目は駒を取るパター
ンではあるが、実に気持ち良く詰め上る。個
人的に好きな作品です。これで9枚。

続いて中村雅哉氏より投稿あり、今回の最小駒
数8枚の作品です。氏の論理的な考察はこうい
った企画で俄然と力を発揮しますね。

それでは今回のNo.1です。

エントリー No. 5 中村雅哉 (8枚)

ばか詰 9手

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
									一
									二
									三
									四
									五
									六
									七
	角								八
香	飛	飛	王						九
王		角	銀						

持駒 なし

89飛 同玉 88飛 79玉 68銀 88玉 77銀
87玉 88金 迄 9手

作者「私の予想では7~8枚くらいでできるの
ではないかと思えます。」

★ 当初頂いた図は、8枚でしたが、余詰あり
でやむなく修正9枚になりました。その後
創棋会にて修正されて見事8枚の図を得ら
れました。大駒4枚の内1枚は捨てて3枚
は取らせる（これも捨てる？）つまり大駒
の駒取りは無い。成駒も無く1つの完成形
といえるでしょう。

第1回フェアリー詰将棋

短編コンクール

～ 作品募集要項発表 ～

ルール・手数の設定にちょっと悩みました。
初回という事であるべく多くの方に創作・解
答に参加して貰いたいので、協自系作品に多
くなられると困るし、かといって純粋協力詰
だけとか5手以下なんてしちゃうとフェアリー
の良さ（多様性）が発揮されない気がするし…。

結局今回は協力詰系の作品（7手以内）とし
てみました（一番中途半端？）。

あくまで試運転ですので、次回以降の開催方
法をこの内容で縛るつもりはありません。そ

の都度担当者の裁量で改善していくべきと思います。

また、第2回フェアリー短コンが開催されたら、僕も解答者として参加してみたいので、次期担当希望者も歓迎します。

★要項★

投稿締切：2009年12月6日（日）
出題開始：同12月20日（日） <WFP第18号掲載>

解答締切：2010年1月17日（日）
結果発表：同2月20日（土） <WFP第20号掲載>

ルール・手数：協力詰系<※注>の作品（7手以内）。

評価方法：ABCの3段階評価。A=3点、B=2点、C=1点、誤解=3点、無解=計数除外。

出品数：1人2作以内。

出題方法など：作者名は伏せた上で全局一斉出題。評価点の平均で作品の順位を決定する。不完全作は失格（自動最下位）。

作品審査：基本的に無審査としますが、fm検討環境がない方の作品検討には協力します。

※注、今回のコンクールの「協力詰系」の定義
今回は、純粋協力詰か、または協力詰に何か条件を付加したルール（例：安南協力詰）を対象とします。勿論受先もOKです。

協力白玉詰など受方玉を詰ますルールや、かしこ系、ステイルメイト系、最悪詰、悪魔詰などは不可です。とにかく「双方が協力して最短手数で受方玉を詰める」ルールにして下さい。

連続協力詰も可ですが、双方の手数の合計は7手以内とします（例：6+1手や4+2手は可、5+3手は不可）。

その他不明な点があれば遠慮なくお問い合わせを。投稿締め切りまで余裕がありますので、作図を焦る必要はありません。求、自信作！

小峰耕希 (jigsawbox@nifmail.jp)

解答募集締切一覧

ネットでのフェアリー詰将棋の解答募集締切一覧です。締切日が早いもの順です。解答先は各々異なりますのでお間違えにないように。

8月20日（木）

詰将棋メモ 推理将棋第25回出題
* 推理将棋3題

9月5日（土）

Onsite Fairy Mate 150回出題
* 協力白玉詰 1題

9月15日（土）

第14回WFPフェアリー作品展

あとがき

お盆があるということで、発行が少し遅れてしまいました。申し訳ありません。執筆陣の方には唯でさえ短時間で書いて頂いているわけですので無理は言えません。ご了承ください。まだまだ残暑が厳しいですが体には気をつけて～～。

たくほん

2009年 第14号

Web Fairy Paradise

非売品

平成二十一年八月号

平成二十一年八月廿日発行

発行所 愛媛県新居浜市

発行兼編集人 須川卓二

発行所 Web Fairy Paradise 編集部

問合先

須川卓二 takuji@dokidoki.ne.jp